

人文会ニュース

2008. 5

巻頭エッセー	アヤとコトワリ	松岡正剛	1
書店現場から	人文書とフェア	家島聖司	3
十五分で分かる日本中世史		本郷和人	5
図書館栄えて出版減ぶ？		柳与志夫	14
くまざわが専門書を取り組む理由		西原宗佳	18
研修旅行報告			

スペイン内戦史研究の最高峰、待望の翻訳！

バーネット・ボロテン 渡利三郎 訳

スペイン内戦

革命と反革命 上・下

A5判上製カバー装 上巻 750 頁・下巻 850 頁
定価(税込) 上巻 9450 円 下巻 11550 円

スペイン内戦とは民主主義とファシズムの戦いだったのか？ 歴史の転回点となったこの戦争はいまだ多くの神話につつまれている。第二次世界大戦前夜の複雑怪奇きまるヨーロッパ情勢を背景に、ドイツ、ソ連、イギリス、フランス、イタリアなど列強の謀略と策動を白日のもとにさらし、歴史の闇に葬られた内戦の真実の姿を明らかにした記念碑的著作。

作家**逢坂剛氏** 推薦！！

晶文社

東京都千代田区外神田 2-1-12
TEL 03-3255-4501 (価格は税込)
<http://www.shobunsha.co.jp/>

T. シェリング／河野 勝 監訳

紛争の戦略

ゲーム理論のエッセンス 戦略的な意志決定を解き明かす。 3990円

鳥越成代ほか編

女性と美の比較文化

美とは何か。哲学、文化人類学、美術等から多角的に考察。 2310円

*価格税込

勁草書房 TEL 03-3814-6861
FAX 03-3814-6854

〒112-0005 東京都文京区水道2-1-1
<http://www.keisoshobo.co.jp>

愛着理論と精神分析

P.フォナギー著／遠藤利彦・北山修監訳
これまで別個に発展してきた両理論の不幸な関係を解消するために、愛着理論に基づいた研究知見を整理・概観し、精神分析のなかに位置づけた研究者垂涎の書。3990円

自己組織化する学級

蘭 千壽・高橋知己著 学級経営でカギを握るのは教師である。本書は学級経営に自己組織化という新しい概念を導入し子ども達自身でうまく学級を作り上げていくように教師が導いていく方法を提唱する。2205円

テキスト臨床心理学 別巻

理解のための手引き

下山晴彦編著 本シリーズ(全5巻)を最大限に活用できるように工夫された手引き書。情報をコンパクトにわかりやすく解説した勉強の足がかりとなる一冊。 2625円

誠信書房

東京都文京区大塚3-20-6
TEL.03-3946-5666

松岡正剛

「世界と日本の見方」シリーズ

9万部突破

タテ・ヨコ・ナナメに歴史を編集。世界がわかる必見の人間文化講義。受講生続々増加中！

誰も知らない
世界と日本のまがい
17歳のための
世界と日本の見方

最新刊

1890円

〈既刊〉1785円

春秋社

東京都千代田区外神田2-18-6
☎03-3255-9611 (価格は税込)
<http://www.shunjusha.co.jp/>

アヤとコトワリ

松岡 正剛

人文の思想というものは、のんびんだらりとしたものではない。また打ち網にひっかかってきた情報や知識を座標の分布図のように並べたてるといふものでもない。特定の知の領域や際立つ知の方法が登場してきたその発生の現場を、目をまるくして見ることがたいへんに重要である。

たとえば、フンボルトの「観相学」や後期ヴィトゲンシュタインの「言語ゲーム」はどのように立ち上がってきたのか。宣長の「いにしへごろ」の研究性は何を背景に浮き出してきたのか、清沢滴之の「二項同体」の着目は何を媒介にしたのかというようなことだ。

これらは漫然と思いついたものではありえない。それまでの世界観や学問観や人生観のどこかの隙間から、音をたて、痛みをとまなつて、ときには自爆を覚悟して、みずから状況を割って出てきたものなのだ。日本では古来これをコトワリ（事割り・言割り）といつて、事態や言辞を眼前で割ることによつて、そこに「理」を見いだすことを意味した。

私は編集工学という新しい方法を研究してきた者であるが、この編集工学そのものが実は「人文の芽生え」とでもいうものを、できるかぎり多くの事例や変遷のなかで嗅ぎ取っていくことを重視する。芽生えが観察できなければ、その後の思想の複合化や分離化の意図や後付けはほとんど読みとれないし、構成しえないのだ。

しかし芽生えとは、雪割草ではないが、すでに先行する知の地面の状態になんらかの亀裂を生じさせたものでもあつて、それゆゑ編集工学は何を研究する場合でも、いちいち発生の現場に立ち戻り、その知が何を割ろうとして出てきたのかに注目するのである。この発生の現場に、人文の原点がいくつもひそんでいる。それはまた人文書の多様な屹立とも対応する。

ひるがえって人文の「文」とは、二つの動向が交差して発生したアヤということである。バツとかベケという「×」のしるし、あれがアヤの原型だった。これは、互いに異なる二つ以上の方角からやってきた情報や知識や動向が、いままさに一点にぶつかって新たな起源を告示したというしるしなのだ。

したがって古代中国や古代日本では格別な赤ん坊が生まれると、額や胸に朱をもつてアヤをしるしたものだ。差異と自立の生誕である。このアヤをもう少し複雑に組み合わせる地面や木片や布面に刻印すれば、それが「文様」とも「文字」ともいうリプレゼンテーションになる。まさに当初の人文の出現だ。

それはまた、このような交差や交錯をもう少し大きな局面にして観察するとわかってくるのだが、二つの道が交わるという辻や都というアヤでもあり、二つの民族や部族が争乱と融和をくりかえして交じっていくというアヤでもあって、そのようにアヤを巨視的に特徴化してみせることが、結局は「文化」や「文明」をもたらしただけなのである。

ところが文化や文明はすぐに自身の出目を忘れ、当初のアヤを呑みこんで図体ばかりがデカくなる。これがしばしば文化の衰退や文明の滅亡をもたらしていく。困ったことだが、こういうことは必ずおこる。そうだとすると、この文化や文明を際立つ人文の知として屹立させつづけていくためには、人文の知というものを安易な総合に向かわせずに、むしろ当初のコトワリやアヤの出現に近い状態に戻して並べなおすことも大事なのではないかということになる。

実は書棚において、人文書の並べ方にも、以上のような事情を多少とも勘案した並べ方があってもいいのではないかと思うのだ。私は自分の書齋や仕事場ではときどきそうしているのだが、書物をその書物の知が辿りついた分類からではなくて、その書物が湧き出てきた方向によって並べるといふことをしてきた。これは決してわかりやすい分類ではない。また探しやすい分類でもない。しかし、そのわかりにくさがかえって、書物に対する獐犢な観察をさせるといふうにもなっていくのである。

(まつおか せいごう・編集工学研究所所長)

人文書とフェア

家島 聖司

昨年の九月から十月にかけての一ヶ月間、人文会協賛による「第一回人文書のすすめ2007ブックフェア」を実施した。

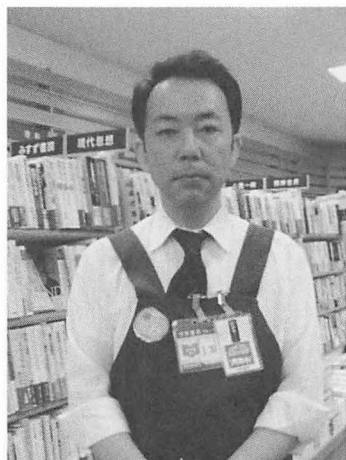
このフェアには約九十社の出版社から、四千点近くの書目の出品があり、人文会から東京大学出版会さんが準備の応援に来てくださった。

今までの人文書のフェアと言えば、「四六判宣言」「書物復権」、歴史書懇話会の「歴懇フェア」などを毎年行ってきたが、このような規模のフェアは初めてであった。

基本図書を中心にした構成であったが、普段棚の中では見ることのできない多くの書目を展示できたことは、人文書ファンのみならず、人文書に関心のなかったお客様にもこの世界の面白さを知っていただけたのではないかと思うし、我々書店員が人文書を知る良い機会でもあった。

フェアと言うと出版社、取次の企画したものがほとんどである。中には文庫や新書のように年間を通して出版社別のフェアがすでに決まっているものもある。しかし人文書の場合はどちらかというと担当者が企画し複数の出版社に条件面でのお願いをし、出品してもらうという形が多いのではないだろうか。このことは棚作りにも言えることだが、フェアを企画するのも、担当者の資質と経験が問われていると言える。そういう意味で九十社近くの版元の参加があった今回のようなフェアは、出版社の得意分野などを一度に知ることができるという、日頃なかなかできない経験であった。

今回のフェアは開催期間が約一ヶ月と短く予告から開催まで時間がなかったこともあり、売上げは目標には残念ながら届かなかった。人文書の性格上お客様が反応するまで時間がかかる。早目の告知は重要だと感じた。そしてもうひとつ残念だったのは、出品書目のなかに、かなり発行日の古いものもあり、書誌データがなかったり、中には価格さえわ



筆者近影

からないものがあつたりと、コンピュータに頼っている昨今、管理が難しかったことが挙げられる。これは今後の出版社の対応にもよるが、課題ではないだろうか。

しかし一方では、そのような本があつたからこそ人文書ファンによるこんでいただけののだとも言えるし、オンラインで簡単に本が手に入る現在、実際にお客様に本を手にとつて見て吟味していただき、そして質感までも味わつていただけことは、リアル書店としての使命を少しは果たせたのではないかと思う。また次回開催の要望があつたのは、今回のフェアの収穫であつた。

元々私自身人文書のファンであることから、担当としての人文書の世界にはすんなり入れた気がしていたが、担当になって約三年、未だに簡単に棚に入ってくれない新刊書と格闘し、毎日棚作りの難しさを痛感している。棚が担当者の力を表現する舞台だとすれば、その棚がいつ来ても同じではお客様に飽きられてしまう。常に変化を求められている。フェアはそういう時にヒントを与えてくれるのだと思う。

今、哲学・思想の分野で科学哲学が面白い。中でも分析哲学から派生した「心の哲学」に注目している。学問としての人文科学が、文系・理系の枠組みを超え、新しい可能性を見出して生まれたのがこの「心の哲学」ではないだろうか。新しい分野なので「人文書のすすめ」の基本図書には載っていないが、私が勝手に選ぶとすれば、朝日出版社「マインド・心の哲学」、青土社「解明される意識」、白揚社「意識する心」、産業図書「認知哲学」、勁草書房「シリーズ心の哲学ⅠⅡⅢ」などが挙げられるだろう。また最近出た筑摩書房の「デイスカバー・マインド」なども面白い。今回のフェアはこの「心の哲学」をテーマにやってみたい。

フェアについて取留めもなく書いてきたが、人文書の担当は、長くすればするほど奥の深さを感じられる。難しさもあるが、そこには担当になってみないと分からない、なつてみて初めて分かる面白さがあるのは確かだ。そういう意味でも昨年のフェアは、担当であつたからこそできた貴重な体験だったと思う。

(い え じ ま せいじ・今井書店グループセンター店)

十五分で分かる日本中世史

本郷和人

1 学界を覆う閉塞感

今日の日本中世史学は、何とも言いようのない閉塞感に覆われてしまっている。私にはそう思えてならない。二〇年ほど前であれば、画期的な論文の登場を待望し歓迎する雰囲気容易に感得することができた。一年に数本だろうか、学会誌に眩目すべき論文が掲載されると研究室で自然に話題となり、議論は次第に熱を帯びて内外に展開していった。従来の考察手法の抜本的な見直しやパラダイムシフトへと繋がっていく社会構造の再認識などはさすがに減多に発表されなかつたけれども、少なくとも学問的達成の貧弱な分野を補う意思と努力とを、声高な注意の喚起を待つまでもなく研究者の多くが共有し、新しい知見や解釈が能動的に積み重ねられた。それゆえ

にある時期に特徴的な研究のトレンドも自然に醸成され、大学や所属学会の垣根を越えて様々な学者・院生・学生がそこに参入していった。熱気はたしかに存在したのだ。それがどうだろう。そうしたエネルギーが、いまはすっかり失われてしまった。五味文彦⁽¹⁾・村井章介⁽²⁾・保立道久⁽³⁾・元木泰雄⁽⁴⁾・高橋昌明⁽⁵⁾・入間田宣夫⁽⁶⁾・藤木久志⁽⁷⁾・神田千里⁽⁸⁾ら第一線の研究者は依然として高い生産性を以て学界と社会への問いかけを続けている。ところが、それを起点とした話の輪が生まれない。それに触発された試みがなされない。批判も補強も継承も。学問の層がすっかり薄つてらくなつたと言うべきなのだろうか。すぐれた研究者は、その仕事が独自性を帯びる故に益々、それぞれの拠点で孤立し、孤独で辛い戦いを強いいられている。筆者自らが属する学界のていたらくを嘆こうというのだから、否応なく気は重くなるし、一方で責任の重大さ

に思いを致さずにはいられない。理解と叙述が的はずれ・勘違いであつては周囲が許してはくれまい。そこで私は念のため、少なからぬ同僚や院生に取材を試み、意見を交換した。彼らの認識と感想は、残念ながら、私のそれとは重なつた。みなが口を揃える。日本中世史は元気がない、と。更にある具眼の編集者の言葉が、追い打ちを掛けるように私を打ちのめした。「現状では『日本の歴史 全30巻』のような大きな企画は立てられない。採算の問題もある。だがより根本的には、是が非でも書いてもらいたい、そう私たちに思わせる研究者が見あたらないんだ。」

いったい、どうしてしまつたのだらう。十二年前の『人文書のすすめⅡ』に今谷明は書いている。「網野善彦にばかり書かせないで、若手に機会を与えて欲しい。」なるほど。若手・中堅が怠惰になり、書物をまともになつたのか。それならば、学界全体の停滞も説明できるではないか……。いや、一度は納得したもの、の、事實はそう単純ではないようだ。歴史書の老舗である吉川弘文館の編集者に尋ねたところ、若手・中堅は先ずは就職のため、目に見える研究業績を挙げるため、博士号を取得するために、その方途の一環として競つて専門書を書いている。出版される本の数は、一昔前より格段に多いの

だそう。加えてその編集者に指摘されて認識を新たにしたいのだが、博士号が晩年の勲章、より端的に言えばおまけであつたころの碩学たちも、さほど多くの学術論文・専門書を書いていたわけでは決していない。生涯に一、二冊の著作を残している方が過半を占めている。つまりは、「いまだきの若いモノは……」と決まり文句を持ち出してみても、説得力のある説明には繋がらないのだ。そこで、改めて考えてみた。この閉塞感には奈辺に由来するのだろうか。取り敢えず考えついたことを二つ、試みに提起してみたい。

2 祝祭のあと

私が準備した二つの答えのうちの一つは、「祝祭のあと」である。祝祭Ⅱまつりとは二つを指していて、その一つは太平洋戦争後の「再出発のまつり」とでもいおうか。軍部の台頭がとくに著しかった昭和初年からこの方、日本中世史は周知の如く、悪名高い皇国史観に支配されていた。この歴史観においては、歴史は文学であり、英雄興亡の物語であつた。歴史は倫理であり、天皇への忠節を説いて、生き方の規範を臣民に押しつけた。歴史は政治ですらあり、人々を容赦なく戦地に追いやった。そ

れゆえに敗戦後に歴史教科書に墨が塗られて皇国史観が否定されると、研究状況は一変した。様々な禁忌に制約されない、科学的分析に基礎を置く歴史学研究が、晴れて解禁されたのである。

前近代のアーカイブである古文書・古記録（日記）を読み解く編纂事業は、明治初年から東京大学史料編纂所を中心に進められ、皇国史観に立脚した平泉澄らもこれにはたやすく容喙し得なかった。それゆえに皇国史観が退場し科学としての歴史学が歩みを始めたとき、豊かに蓄積されきたった実証的な編纂史料が、きわめて良質な材料として研究者に提供された。手つかずの史料が眼前にある。複雑な研究史の整理に手間取ることもない。成果が出れば全てが新しく、直ちにその分野の第一人者たりうる。学問的にまことに幸甚な時節、祝祭の時節が到来したのである。

皇国史観の後継としては唯物史観が登場し、一九八〇年代にはそれも色褪せ始めたが、中世史学界はこれに変わる歴史観を用意しようとしなかった。それは一つには明らかに研究者の怠惰の所為であるが、史料の豊富さも遠因となっていた感がある。史料の解釈の工夫次第で、効果的に新知見を導き出すことが可能であったのだ。それでも流石に戦後中世史学の行き詰まりが顕著になった

とき、もう一つのまつりが幕を開ける。言うまでもなく、「網野まつり」である。

東寺領荘園の膨大な分析と成果とを以て、実証的な荘園制研究のトップランナーとして学界に知られていた網野善彦は、一九七八年に『無縁・公界・楽』を著して世の耳目を驚かせ、一躍注目を集めた。先鋭的な試みの常として、当初は否定的な意見も少なからず表明されたそうであるが、すぐさま同書を一九七四年に書かれていた『蒙古襲来』と併せ捉え、アカデミズムの脈絡の中で高く評価したのが石井進であった。東京大学国史研究室の正統を受け継ぎ、伝統的な中世史学界の中枢に座を占める石井は、学問的な冒険をためらい、学際性への対応に鈍感な周囲を厳しく批判し続けていた。彼は、同研究室で基礎を学んだ網野をあえて異端と呼び、ともすると自らの殻に閉じこもろうとする臆病かつ怠惰な学界を変革する、外来の旗手と位置づけた。アナール学派の社会史までを視野に収めた網野のスケールの大きな理論は、石井によって実証性を補完され、また保証されて、瞬く間に区々たる学問領域を乗りこえていく。

民俗学・社会学・考古学などの手法を援用して描写される網野の研究世界は、多くの読者と共感者を得ていった。網野と石井の二人三脚に法制史の笠松宏至と戦国史

の勝俣鎮夫が加わったユニットを人々は「四人組」と呼んだが、彼らは現代とは様々に異なる中世社会を活写し、読者の眼前で展開して見せた。「網野まつり」はかくて大変な盛況を見せ、網野の本は単著だけで四十冊あまりが上梓された。

その網野が二〇〇四年に亡くなった。石井（二〇〇一年）、また一貫して中世史を支え続けた永原慶二（二〇〇四年）も世を去った。「網野まつり」は当然ながら、一応の幕引きとなった。また永原に代表される、「学問的に幸せな時期」を生きた世代も、表舞台から惜しまれつつ姿を消した。この意味でも、祝祭の時節は終わりを告げたのである。

さて、二つのまつりは何をもたらしたのか。そのあまりにも大きな仕事を、残された私たちは質量ともに計りかねている。祭りの功績も積み残された課題も、十分に咀嚼するにはまだまだ時間がかりそうである。新しいまつりを始めるためにも、批判と継承は精確に行わねばならない。だが、その前途の遼遠を思い、氣づけば思わず尻込みをしている。「祝祭のあと」の気怠さ。いまはそういう時期なのかも知れない。

3 前近代史の地盤沈下

私が準備した二つの答えのうちのもう一つは、「前近代史の地盤沈下」である。これにも更に二つの要因があると整理することができる。①内在する問題点、と②外部からの圧迫、である。

① 内在する問題点

日本には他国に例を見ないほど、大量の史料が残されている。何故か、と問われれば、とりあえずは

○ユーラシア大陸の東の外れという地政学的条件。

○外敵の侵略を受けず、激烈な革命も経験しなかった。

○幸か不幸か他国に発信する宗教・文化を持たなかった。

た。

等々を想起することができるが、ここでは深入りしないともかく、私たちは真摯に丹念に史料に向き合えば、日本の中世社会をかなりの程度、立体的に復元できる。

これが例えばフランスであれば、フランス革命時に教会がみな焼かれ、文書も失われた。織田信長による比叡山の焼き討ちの如きが、全国規模で起きているのだ。そのため、史料に準拠するだけでは、過去を探究する手立てとして十分ではない。いきおい理論を磨く必要に迫ら

れ、アナール学派ほかの論理的な歴史学が発達した。これに比して日本は理論構築にゆとりを以て対応できず、不要不急でなければ弛緩するのが世の常で、実際にそうした努力を怠ってきた。

我が国での史料の解析は、明治時代に始まる史料編纂所での歴史資料の編纂事業を中核として進められてきた。一方で欧米からの歴史理論の受容の必要性が等閑視されたわけではなく、例えば東京帝国大学教授の三上参次は後任の助教授、平泉澄に理論研究の重要性を強く説いたと言われる。一九三〇（昭和五）年の平泉（35歳）の外遊はまさにそれを目的としたものであったが、彼の研鑽は皮肉なことに、およそ科学とはかけ離れた皇国史観として結実したのであった。

敗戦後の皇国史観の徹底的な否定は、正反対の位相を有する唯物史観の隆盛を招来するが、それもやがて新たな理論に批判的に継承されるべきであった。ところが、ベルリンの壁の崩壊やソビエトの瓦解を目の当たりにした今日ですら、唯物史観はしぶとく根を張り、これを凌駕する潮流はなかなか見えてこない。研究者の怠慢はまさに責められるべきであるが、では彼らは如何にして給料分の活動を持續しているかといえば、実証性を口実に史料解釈に安易に依存しているのである。

古記録を読み込んだり古文書を分析・分類するのは、長い修練を土台として行い、確かに困難な作業である。

そのせいもあって少なからぬ研究者は難解な史料を読み解いた時点で一定の満足と安心を覚え、獲得した内容を原稿用紙のマス目に移し、それを以て中世史の論文として提出してしまう。だが、そんなものの何処に「論」があるのだろうか。それがどうして「論文」の名に値するのだろうか。彼らの無自覚なありようは、間違いなく中世史学界の停滞と閉塞に結びついている。

IT技術の発達もたらすデータベース開発の進捗も、忘れずに視野に入れておかねばならない。史料を読むという行為は、

(i) 自分で原史料の所在を搜索し、機会を捉えて閲覧し、解説困難なくずし字と格闘しながらデータを得る（主に戦前）

(ii) 主要史料の多くが活字に翻刻され、読解とデータ蒐集が(i)に比べれば容易になる（戦後の昭和期）

という過程を経て、今や

(iii) 各種データベースが整備され、検索作業に工夫を施せば、キーワードなどをもとに必要なデータを簡便に入手できる

というステージにある。

データベースの開発により、誰もが「編纂ごっこ」に携われるようになった、とはある練達な史料編纂者の述べであるが、彼の言葉を借りるならば、データベースの開発により、誰もが「実証ごっこ」に従事できるようになった、のである。それゆえに私は再び問いたい。こうした作業を文章化したものを、果たして論文と呼ぶことができるのか。頭脳ではなく腕力で作成したものを以て、どれほど社会に浸透していけると高を括っているのだろうか？ 実証的態度を隠れ蓑に、「考えよう」としない歴史屋たち。史料に依拠してさえいれば、という貧しい方法論の横行を許しては、中世史の収縮は止まるまい。

話を元に戻す。唯物史観が退場しつつある現状への対応として、学界では三つの対応が見られるように思う。Aとして、圧倒的な網野史学が挙げられる。社会学に親和性を持ち、他の学問との学際性を模索するその手法に、私たちは今後も学んでいかねばなるまい。ついでBとして、実証史学の真の錬磨がある。史料を深く読み込む。記事の裏を推測し、行間に真実を探る。一見ただけでは関連性すら見えない史料を鋭い解析によって関連づけ、そうした作業の集成として従来とは全く異なる歴史像を

立ち上げる。こうした方法を探る研究者としては、本郷恵子⁽⁹⁾と桜井英治⁽¹⁰⁾を挙げることができよう。更にCがある。これは、研究方法の主流を形成できぬのを承知の上で、果敢に理論構築に挑戦し続ける、というものである。これにあてはまる刮目すべき研究者が、新田一郎⁽¹¹⁾と東島誠⁽¹²⁾である。彼らの動向は注視して見守る価値を有する。

② 外部からの圧迫

東京大学の国語の入試問題の変遷をあとづけてみると、容易に看取し得ることがある。四半世紀ほど前と比較してみると、まず問題数自体が減少している。現代文では、長文の解答の価値が低下しているようである。変化が著しいのが古文・漢文で、誰が見ても明らかほどに、答えやすくなっている。推測するに、従来のような出題では受験生はひとしなみに点が取れなくなり、差別化に苦慮した大学側が対応を余儀なくされた、ということであろうか。

国語は人文系学問の基礎である。若者たちの国語能力の低下は、人文系学問全体の低迷に直結する。就中、古典は彼らにとって、縁遠いものになっているようだ。むしろその代わりに彼らは英語を話し・聞く能力やIT技能を伸ばしている。彼らのトータルな知能が下降しているのでは決してなく、古典が時代遅れの代物に成り果て

ているのだ。

教育現場に身を置いているとイヤというほど実感できるが、なにしろ日本史、とくに前近代史は人気がない。これは一つには初等・中等教育の歴史の授業が暗記中心になっているゆえであろう。何年にはこれが作られ、何年にはだれがそれを定めた。こうした無味乾燥な事物の羅列が子どもたちの興味を惹くわけもなく、しかもその丸暗記を強制されては、彼らは歴史を憎むようにすらなっていく。私はつい数ヶ月前、医学博士（千葉大学）を取得している若い女医の方に「へえ、本郷さんは歴史の研究をしているんだあ。それじゃあ、暗記は得意ですよね？」と言われ、愕然とした。その医院には二度と足を向けていないが、それほどに「歴史Ⅱ暗記モノ」の図式は社会に定着している。能動的な実験や調査ではなく受動的な暗記こそが最も適切なアプローチと観念されているとは、取りも直さず、歴史が不動かつ不変で、私たちの現在にのしかかっている、という重苦しい認識の遍在を意味する。そうした教育を若いうちから強制されている人々が、この先に歴史学に興味を持ち、エネルギーを与えてくれるとは思えない。

教養主義の崩壊、腹の足しにならぬ教養より実学を、という社会の趨勢も中世史には厳しい逆風になっている。

人間の精神を涵養するための教養の重要性は、事あるごとに言い訳のように繰り返される。繰り返されるだけまだまともではないかという醒めた見方も成り立つだろうが、ともあれそれはあくまで建前であって、社会が実益と効率こそを追い求めていることを若い人たちはよくよく肌で感じている。

いずれが卵でいずれがニワトリかはさておいて、社会は数値化された実績を要求し、若者はそれを産出するためのスキルを体得しようとし、大学はそれに対応すべく伝統的な学問の体系の改編に着手する。結果として前近代史の授業に学生はいなくなり、講座は他の分野に先んじて閉鎖され、若い研究者の就職機会は激減する。新しい血が導入されないと職場の活力が失われる、とはしばしば耳にする言葉であるが、中世史学界だけが例外であるはずもない。

先の「学問的に幸せな時期」の研究者は、学問への敬意が十二分に存在していた社会に生きたという意味でも、まことに幸せな世代であった。延々と続く職場（東京大学情報学環というところである）での会議の合間に、私が古い世代の学問への献身を話題にすると、ある著名な若手准教授が苛立ちを隠さずに言い捨てた。その大先生たちがのんびりと研究しかしてこなかったから、いまは

くたちがカリキュラム再編成だの、財務体質の見直しだの、海外の大学との連携だの、そんな面倒くさいもろもろをすべて背負い込む羽目に陥ったんじゃないか！ むろん彼はひどく疲れているか、虫の居所が悪かったのだろうが、それでもその発言に真実の一端があることを、私は認めずにはいられない。

例外も往々にして見受けられるが、研究者とは欲得拔きに、「考える」ことが好きだからこそ、その道を選択した人の謂である。彼らが嬉々として机に向かえる環境は、彼らが本当の意味で研究者たり得る条件は、どうすれば整備されるのか。いまほどそのことを議論しなくてはならない時は、これまでになかったであろう。

- (1) 『書物の中世史』（みすず書房、二〇〇三年）・『中世の身体』（角川書店、二〇〇六年）・『王の記憶』（新人物往來社、二〇〇七年）など、人文系学問の学際性の真髄を示す著作を矢継ぎ早に刊行している。

- (2) 『中世日本の内と外』（筑摩書房、一九九九年）・『東アジアのなかの日本文化』（日本放送出版協会、二〇〇五年）など、東アジアにおける日本中世史を描く点で出色村井の活躍により、ふるわない中世史の中で対外関係史だけは盛況である。なお、このジャンルでは榎本渉の『東アジア海域と日中交流』（吉川弘文館、二〇〇七年）

も注目される。

- (3) 『歴史学をみつめ直す―封建制概念の放棄』（校倉書房、二〇〇四年）など。歴史理論の第一人者であり、早くから歴史的データベースの作成に携わっている。

- (4) 『保元の乱・平治の乱を読みなおす』（NHKブックス、二〇〇四年）など。中世成立時期の政治史の旗手であり、権門体制論の理論的再構築を行う。

- (5) 『武士の成立 武士像の創出』（東京大学出版会、一九九九年）など。武士の本質を追求め、戦士の範疇のどこまらない多様性に言及して、朝廷と武士の接合点を探る。

- (6) 『北日本中世社会史論』（吉川弘文館、二〇〇五年）など。従来は辺境として切り捨てられていた東北地方からの視座により、全く異なる新鮮な中世史像を描く。

- (7) 『雑兵たちの戦場―中世の傭兵と奴隸狩り』（朝日新聞社、一九九五年）など。専ら歴史小説によって語られていた戦国時代像をアカデミズムの脈絡で、興味深く捉え直す。

- (8) 『一向一揆と戦国社会』（吉川弘文館、一九九八年）など。戦国時代を舞台として、人間と信仰とのありように肉薄する。

- (9) 『中世公家政権の研究』（東京大学出版会、一九九八年）など。中世朝廷研究の第一人者であり、実証作業の

奥深さとダイナミズムに魅力がある。

- (10) 『日本中世の経済構造』(岩波書店、二〇〇三年)など。中世経済史を基軸として、社会構造に鋭く切り込んでいく。網野史学の後継者と評される。

- (11) 『日本中世の社会と法』(東京大学出版会、一九九五
年)など。中田薫・石井紫郎らの伝統を受け継ぐ、法制
史研究室教授。法への深い洞察をもとに、国家や社会を
考える。

- (12) 『公共圏の歴史的創造』(東京大学出版会、二〇〇〇
年)など。歴史理論を縦横に駆使して、人々のありよう
に肉薄していく。新しい潮流を感じさせる、若手の第一
人者。

(ほんごう かずと・東京大学史料編纂所准教授・文学博士

図書館栄えて出版減ぶ？——公共図書館モデルの転換点

柳 与志夫

1 公共図書館と天動説

出版不況と言われる。書籍の販売実績を見る限りはそうだ。好調だった雑誌の売り上げも落ちてきた。その一方で、公共図書館の新館建設や館外貸出冊数増加のペースは衰えを見せない。最近開館の長崎市立図書館や府中市立中央図書館、豊島区立中央図書館の繁盛ぶりは、公共施設の中で図書館の集客力が図抜けていることを改めて全国の首長や議員に示した。数年前の作家やジャーナリズムによる公共図書館＝無料貸本屋批判は、こうした文脈の中で起きたことを理解する必要がある。

図書館界ではそれに対して、図書館の資料貸出が出版物の売り上げにほとんど影響を及ぼさないことを示そうとした。私も実質的にはそうだろうと思う。しかし、論

議のポイントはそこにあるのではない。作家や書店関係者などの出版関係者から、公共図書館が出版界に対立するものとして認識されている、そのことの重大性にある。図書館が出版界の一員であるという仲間意識があるとは思えないのだ。一方、公共図書館の現場でも、求める本が入手できさえすればよく、出版社や書店、作家たちがどのような状況にあるのか、その問題に思いをいたすことはほとんどないといつてよい。図書館がなくなっても出版社は残るだろうが、出版社なしで図書館は成立しないにもかかわらず、だ。

こうした出版界との関係は、そのことだけにとどまらず、現在の公共図書館あるいは公共図書館員が置かれている状況を象徴している。「孤立」である。

情報と知識に関わる公共サービスとして、本来は深い関係を保つ必要があるはずの、地方行政・公務員行政が

らの孤立、学術世界からの孤立、情報経済活動からの孤立、そしてその結果としての社会からの孤立だ。しかも図書館（員）自体はそのことに対して無自覚にとどまり、一種の天動説で社会を見るようになっていて。社会の一部として図書館があるのではなく、図書館を中心に世界が動いているという感覚である。

現在の公共図書館が抱える「目に見える問題」は、すべてその根から生じているというのが私の考えだ。その問題とは、①館外貸出サービスの特別視と肥大化、②潜在的利用者による公共図書館への反発・軽視、③委託等の理念なき拡大、④専門職論議の漂流と現場の空洞化、⑤新規主力サービス開発の失敗、⑥公共図書館政策の不在、の六つである。

ここでそれらの問題一つ一つを論議することはできないが、その解決のひとつの方向を具体的な形で示そうとしたのが、千代田区の担当者として私に関わった新千代田図書館構想だった。そこで次に、千代田図書館の何が公共図書館として「新しい」のか、それを通じてどんな公共図書館像を追求したのかを示してみたい。

2 千代田図書館の新しいさ

昨年（二〇〇七年）の開館以来、新千代田図書館は、週日夜十時までの開館、新書マップコーナー、図書館コンシェルジュサービス、Web図書館サービス、古書店との連携など、数多くの新規サービス開発による話題をジャーナリズムに提供してきた。こうした成果は、運営方針としての広報機能重視、従来の日本の公共図書館にはない広報経費の確保や広報専任担当者の設置に負ったところが大きい。それに対しては、目新しさだけに頼った、マスコミ受けを狙った一種の広告戦略であり、「地道な」図書館サービスの充実とは無関係とする批判も図書館界には多くあったようである。しかし、表面的なサービス提示様式ではなく、千代田図書館の新規サービスが提供しようとしている中核部分に目を向けることができる。その新しさの本質をわかってもらえるはずだ。

その一例として、「おいしいカレー屋さんも紹介する図書館コンシェルジュ」を取り上げてみよう。こうしたキヤッチフレーズは、新聞や雑誌の記事タイトルとしてわかりやすく、逆にそれがために図書館関係者に揶揄されることも少なくないが、もちろん、図書館コンシェルジュを設置したのは、カレー屋さんやれたカフェを紹介するのが主目的ではない。その目的は大きく三つある。

そのひとつは、受動的サービスから能動的サービスへの転換だ。これまでの公共図書館サービスの多くは、レファレンスサービスを始め、利用者が求めてからサービスが始まった。つまり、「求めよさらば与えられん」である。図書館コンシェルジュは違う。自分から利用者に声をかけ、さらに必要なら館内ツアーもする。

コンシェルジュが自分の価値判断にもとづいて「私はこれをお勧めします」と積極的に選択肢を提示すること、
「あれもある、これもある、選ぶのはあなたです」という、これまでのレファレンスサービスと異なる点だ。

そして最大のポイントは、従来の公共図書館の情報資源サービスの順序を逆転させたことだ。まずは限られた自館蔵書の中で利用者ニーズに応え、それができないときに外部情報資源を探索・紹介するという従来のやり方と、千代田区の豊富な文化情報施設とその資源の入り口（ゲートウェイ）として最初に千代田図書館を位置づけ、その案内役にコンシェルジュを据えたこととは、情報アクセスの方向が大きく異なる。この点は、新書マップ＋連想検索システムの導入も同じ考えに立つ。世界の情報資源にアクセスしたうえで、その特性に合わせて情報源を選択する、千代田図書館蔵書検索もその一部分だ。

こうしたサービスの背景にあるのは、公共図書館の蔵

書が「孤立して」あるのではなく、インターネット情報源を含めた様々な文化情報資源を横断し、区内外の各種施設・機関と連携することを前提として図書館活動を組み立てるという考え方である。古書店街との協力関係はその一例に過ぎない。社会から孤立して存在するのではなく、社会と協働して機能する公共図書館象を求めているのだ。

3 出版界の中の図書館

公共図書館が連携すべき相手としては、情報や知識を生み出し、それを保管・利用提供する機関であればどこでも可能だ。行政機関、教育・学術機関、経済団体、文化施設、マスメディア機関、そして各種図書館と、枚挙にいとまがない。その中でも出版・流通業界は同じ書籍を扱うその近接性から特別な関係にあるはずだ。ところが、これまでの図書館界では、一連の出版物生産過程において、最初が出版社、中間に取次・書店、図書館はその最後に位置し、それぞれ明確に役割が違っていて、相互協力という関係にはないという捉え方が一般的だった。

千代田図書館では、神保町の古書店と連携し、毎月一回各店の所蔵本を展示紹介・販売斡旋する「としょかん

のこしょてん」を実施している。また、主要出版社広報誌の常設展示コーナーを設けている。昨年十一月に開始したWeb図書館サービスは、本ではできないコンテンツ提供サービスの側面があることは確かだが、それ以上に、幅広い階層の人々が利用する図書館を一種の展示場として機能させることによって、なかなか社会的に普及しないデジタル図書を知ってもらうきっかけになることを大きな目的としている。

千代田区では、平成十九年三月に千代田区子ども読書活動推進計画を区立図書館が中心になってまとめた。今年度は、その計画に盛り込まれた区内読書活動推進に関わる諸施策の展開を支援するため、千代田図書館内に読書振興センターを設け、関連情報の収集、読書活動の啓発・普及、学校等読書推進活動実施機関との連絡・支援、人材の育成を担うことになっている。こうした活動を円滑に行うため、区では千代田区読書活動推進連絡会を設け、そこには小学校や保育園、児童館、保護者などに加え、出版社や新聞社の方にも参加を願い、官民の垣根を超えた協力関係を築こうとしている。

千代田図書館は、一三〇年の歴史をもち、閉架書庫にある戦前の蔵書には貴重な資料が埋もれている。これらを発掘し、現代の観点から新しい価値を賦与していくこ

とも図書館の重要な役割である。そのためには、その価値がわかる出版・古書店関係者の協力が不可欠と考え、千代田図書館サポーターズクラブ特別会員の制度を設けて参加を呼びかけている。また、出版関係者による利用を第一義的に考えた出版資料コレクションの構築も今年度から始まる。

こうした活動は、神保町に近い千代田図書館だからできること、と言われそうだが、都市型図書館であれば、出版社、新聞社、放送関係機関、書店など、規模の程度は別としても、提携する相手はいくらでもあるはずだ。千代田図書館がその先鞭をつけることができれば幸いである。

(やなぎ よしお・国立国会図書館電子資料課長)

くまざわが専門書を取り組む理由——アカデミアを中心に——

西原宗佳

「アカデミア」と言う名前を聞いて、それが書店名で、しかも専門書を充実させている大型書店であると理解する人はまだ少ない。

くまざわグループは「アカデミア」と言う名称で、専門書を核に置く新しい書店をここ三年にかけて作ってきた。スタートは、三年前九州小倉にオープンさせた「サンリブ小倉店」に始まる。現在までに、六店舗を立ち上げてきている。

アカデミア サンリブ小倉店 二〇〇五年 二六〇坪

アカデミア けいはんな店 二〇〇五年 三八〇坪

アカデミア くまざわ書店桜ヶ丘店 リニューアル

二〇〇五年 三五〇坪

アカデミア 港北店 二〇〇七年 七〇〇坪

アカデミア ちはら台店 二〇〇七年 三六〇坪

アカデミア 大垣店 二〇〇七年 三二〇坪

八王子店、錦糸町店、つくば店、奈良店など個店で専門書を扱う店はあったが、「アカデミア」としてスタートして三年、遅い出発であったといえる。

くまざわグループはこれまで大型SCの中に一五〇から二〇〇坪規模の大きさと、ファミリーを対象にした店を作ってきた。効率の良い店舗運営、売れ筋商品を中心にMDを進める。これが、くまざわグループの基本的なビジネススタイルであった。それとは逆に、大型書店は、当然専門書を充実させ、その分効率低下を引き受けることになる。なぜいま、くまざわグループは、書店の大型化を進めてきているのか。

ひとつの大型書店がオープンするまでには、人知れない働きが隠されていて、現地に足を運び町を調査し、相手と交渉をすすめる中、まだ存在しない店を頭の中で空

想する。仮のレイアウト図面ができあがれば、その上を小さなお客様になった自分が動いていて、買いにくい場所はないか考える。さらに書店が大きくなればなるほど、どんな本を揃え、どんな棚を作ってゆくか、どんなお客様に利用してもらえるのかいろいろ調べる。

いつでも欲しい本に出会え、重さを確かめる様に本を手に取り、安心して買える。これが、書店の本来の姿であるとすれば、大型書店は書店の理想型であり、専門書を幅広く揃えてゆくことは、書店として大きな可能性を秘めていると言える。それは、書籍に対するより大きな欲望を掘り起こして行くことができるとも言える。

一方で新たに、本部MD推進部に専門書担当がおかれ、先述の先導店の商品情報を集中させる窓口になっている。これで行く、専門書に対する情報の共有を本部MDが核になり行えるようになった。また、人文会をはじめとする出版社と情報交換することも回数を重ね、よりきちんと専門書を取り扱える環境ができてきたと言える。

昨年11月21日には、人文会主催の専門書勉強会を、横浜あずみ野で開催することができた。人の育成とあわせて、担当者が店でいつも考えていること——人文書の学習方法・棚分類の考え方・棚メンテナンス、常備の取り

扱いと日々いろいろ悩んでいること——を具体的に話し合え、意見の交換ができた。

この勉強会を契機に、くまざわ内部で専門書を扱う仕組みが作られるようになった。専門書担当者でチームが組まれ、何度も話し合いが行われた。こうして、「アカデミア」を運動の中心に置き、専門書の位置づけ・取り組みが大きく変わってきた。

では、ここで言う専門書とはなにを指しているのか？専門書は、いわゆる人文社会書、理工書と区分される学的大系的分類以外に、書店店頭では専門教養書、専門実務書とわけて用途的に区分することがある。それは、使う人を想定しているからである。教養という言葉が今や死語化していると言われるが、現にそう表現される分類がある。学業の延長で、専門書を読むこともあり、ひとつの知識や情報として読むこともある。

また、一方では生きることの壁にぶつかり、膝を折る人がいる。社会の中の自分と、また自分の中の社会とに真摯に向かい合おうとする人がいる。その人が人文書を杖として、再び立ち上がれることがある。それは人文書が、先人の強い言葉を返してくれたら、社会に対する「なぜ」の問いかけへきちんと答えてくれたりするから



である。

一方、専門実務書は自分の能力や役割を高めるために、大いに協力をおしまない。それは、教師が生徒を教える場に道筋をつけ、学生が学び・資格をとるために必要とされる。また人々が働く現場で今すぐ必要とされる知識を補う情報源として、なくてはならない働きをする。

私たちは、『専門書』と言うジャンルをこんなふうにかえていく。

一昔前、本屋さんと呼ばれることは、八百屋さんや魚屋さんと同じく、町の中心の親しみのある書店への呼称であったが、今や大型店が林立する時代に、特徴のある店づくりをめざす私たちは、『アカデミア』に本を買いに行く』と店名で呼ばれるように、店を作って行きたいと考えてる。

注)「アカデミア」という店名は、二〇〇四年社内で店名公募を行い、多くの店名の中から多数票を受け当選した名称である。

(に)しはら むねよし・(株)カルチェ・イケダ取締役役員

アカデミア港北店店長)

研修旅行報告

初日、大阪に着いたのは十一時前。まずお伺いしたのは紀伊國屋書店梅田本店だ。数年来人文書の位置は不変である。その日は平日の午前中であつたが、店は混んでいて活気があつた。日本中世史の棚を一所懸命見ている中学生くらいの男子を発見。君は将来網野先生みたいな歴史学者になるのかな？と微笑ましくなつた。でもきょう普段の日だよ？学校いいのかなあ。まあ学校よりも人文書の棚が好きな中学生がいてもあつか、と考え直す。昼食のあと新阪急ホテルで紀伊國屋書店さんと研修会をもつ。梅田店の加藤本店長はじめ、本町店、高槻店、京橋店、川西店の各店舗の皆さんに出席していただいた。人文会発足から三九年の間で大阪での研修は四回目、十三年ぶりだ。加藤店長からこの五年ほどの大阪の書店事情のこと、駅前の阪急百貨店が日本最大級の店に生まれ変わり、さらに北梅田の再開発が続くなど、将来大変貌

広報委員会 根井浩一（平凡社）

を遂げてゆく駅周辺のことなどをお話していただいた。どうりでこの土地には独特のエネルギーを感じるわけだ。さて、研修会では人文会の各委員会メンバーから「現代思想のキーワード、キーパーソンの現在とこれから」、あるいは「歴史の棚ではいま何がトピックか」などの報告がなされた。また、紀伊國屋さんからは、「書評の事前情報を早めにほしい」「人文書は装丁の見栄えをもつとよく、活字を大きくしていただきたい」「本屋にとつて、人文書はとくに最初の一冊をどう売るのが勝負。いつも頭を悩まされている。」など日頃から思われている質問や貴重なご意見をいただく。

この日二件目にお伺いしたのは旭屋書店大阪本店だ。一階で小川店長のお出迎えを受けて四階の人文書フロアへ。「人文書の売れ行きは数年変動ありませんね。うちは低く安定しますよ」と森野副店長は笑って話されて

いた。梅田の旭屋といえ、鉄道本で名を鳴らす。帰り際八階のコーナーを覗いてみると模型やジオラマが展示されるその奥にドッシリした正方形の平台を見つけた。

その周りで食い入るようにページを捲っているディーブな読者たちがいた。人文書も鉄道本も奥が深い。熱心な読者は死なずの直感を抱く。次にブックファースト梅田店へ。人文書ご担当は小牧さんだ。実は翌日に京都店オープンを前にして、小牧さんはそちらの店の人文書の選書も担当されているという。「周りには旭屋さん、紀伊國屋さん、ジュンクさんもあるし、そろそろ専門書棚への本の落としこみをきっちりやりたいです」という彼女はプロの目をしていた。その四角梅田店から歩いて十分のところにジュンク堂書店大阪本店がある。「さっき社員旅行から帰ってきたところなんです、こんな格好ですみません」とは営業本部副部長の岡山さんだ。専門書フロアの棚レイアウトの変更をしたばかりで、人文書の顔の思想・哲学を一番手前に配置し直した。福嶋店長、岡村副店長にご挨拶し、本日の書店様訪問はここまで。その夜、書店様二六名、販売会社様十二名を招いて懇親会をもった。今年から人文会第七代代表幹事となった春秋社の鎌内さんが「来年はいよいよ会創設四十年。これからも、販売会社、書店様には人文書の充実を図っ

ていただき、人文書をますます好きになってくれるようお願いします」とご挨拶。そして大阪の夜は活気のうちに更けていったのだった。

翌日は神戸からスタート。ジュンク堂書店三宮駅前店へは、十時オープンとともに入店した。中央の通路に木製の長椅子が十五脚、たっぷりの蔵書に囲まれて本を選び出し、椅子に座ってゆつくり吟味する時間は本好きな人間にとっては至福のときだ。それに棚から棚を歩くとけっこう足が疲れる。ベンチはありがたい。次にお伺いした紀伊國屋書店神戸店もビルの上にある。「うちは人文書よりもビジネス、経済が強いですね」とは着任二年目になる定岡店長の言だった。最近人文書がよく売れるよと言っていただけよう頑張りたい。そして三軒目はジュンク堂書店三宮店。「難波店の難波です」が売りだった難波さんは今月から三宮の店長だ。「ウチの会社は年寄りになると三宮に帰るんですよ」という店長は六甲から通う。あの背が高く存在感に圧倒される特製本棚。図書館よりも図書館らしい空間はいつ見ても壮観だ。店内をブラブラ歩いて、実用書のところで『必ず成功する居酒屋開業のノウハウ』という本をペラペラ見ていたら、いつの間にか後ろに立っていた難波店長に「どこに店開きます?」と話しかけられ、顔が引き攣った。(人文書

の棚ばかり見ていると正直疲れるんですよ。赦してくださいー！）この日の研修会はジュンク堂さん（大阪本店、三宮店、三宮駅前店、西宮店、天満橋店、京都店ほか）と。天空の中華レストランで昼食をとりながら意見交換をした。窓外は煙る雨、ちよつと残念。

神戸からJR快速で四十五分で京都だ。アバンティ・ブックセンターは外の天気など関係なくお客さんで賑わっていた。植上副店長は「仏教書は京都で一番だと思えます。若者向けのファッションビルを袈裟姿のお坊さんがエスカレーターで上がってこられるのは不思議な光景ですよ」と言われていたが、大谷光真氏の『世の中安穩なれ』（中央公論新社刊）は千三百冊売ったとのこと。仰天である。本日の書店様訪問はこれにて終了、宿は祇園の名旅館・畑中にとった。

最終日、昨日の雨は嘘のように、爽やかな秋晴れとなる。旅館の室内着は作務衣であったが、すこぶる気持ちのいい朝、N社のEさんが旅館の前にその姿で出てみたら、通りすがりの外国人観光客に深々とお辞儀をされたとのこと。一同大笑い。振り向けば宿の隣は八坂神社の杜であった。河原町へでる。ジュンク堂書店京都店は今では河原町の老舗になった。ジュンクさんの中でも比較的初期にできた店であるが、一年半ほど前に棚をリニュ

ーアルした。一見どの店舗でも均一に見えるあの棚は、実は複数の業者が作成していると、古田店長に教えてもらう。その京都店から歩いて五分ほどのところに一昨年、京都で二軒目のジュンク堂がオープンした。BAL店である。最近心理の書籍の見直しをしたところ、売上がよくなったとは人文ご担当の岸さん。もともと医書はよく売れるそうで、それと連動しているのかもしれない。八階のカフェからは京都の町並と紅葉の準備をはじめた山並を一望することができる。超贅沢な借景を前にして頁を繰りながらゆつたりお茶を飲むことができる京都の人が羨ましい。次の訪問先の阪急ブックファースト京都店は昨日オープンしたばかり。阪急さんだけあって宣伝ポスターも洒落ている。舞妓さんがB2Fのロゴの入った小さな紙袋を下げて町屋を歩いている、そのちよつと横向きの姿がなんともよい。そういうえば、先のジュンク堂さんにも舞妓さんがニッコリして「ぎょうさん読んでおきばりやす」と言葉を流したポスターがあったのを思い出した。舞妓さん引つ張りだこです。さてそのブックファースト京都店。阪急河原町の真上に建つ真新しいビルに入っている。元々京都京宝にワンフロアでブックファーストは営業していた。ビルの立替でその店は閉店したが今回一年十か月振りに京都に帰ってきたのだ。あの頃

のお客様を呼び戻す努力をしていきたい、と梶野店長は話されていたが、その日は決して遠くないだろう。

世界遺産に指定された建築物が京都には十七箇所もあるらしい。古代に整然と区画された町を人文会一行のバスがゆつくり進む。京都大学に着いた。書籍部の入っている生協の名前はRensaiだ。ルネサンスである。風について流れてくるブラスの音、学生会館前を埋め尽くす通学用自転車。大学キャンパスは胸を撫でる切ないかおりがする。文化祭はもうすぐだ。人文会の兄弟会の歴史書懇話会のフェア（歴懇リバイバル）が展開中だった。そのほか、京都大学学術出版会フェア、京都大学SF研究会によるブックフェアなどで棚が賑わう。鯉迫店長のお見送りを受けて再びバス。加茂川、京都御所、同志社大学、烏丸通、京都で一番広い堀川通りを進み、清明神社、五条通り、元本能寺跡、西本願寺などを目にしながら（順番は減茶苦茶です、あしからず）、今回の研修旅行の最後の訪問店、大垣書店三条烏丸店に到着。店は渡辺淳一氏のサイン会の真最中だった。講談社の『あじさい日記』の刊行記念だ。我々はお邪魔にならないようにそつとお店にお伺いし、河内店長にご挨拶した。人文書のコナーでは十月のまるまる一か月「心理学・宗教学・哲学思想のすすめ」フェアを展開していた。棚に収まる九

百冊の人文書は見応え十分。んー、何かガツンと売れた本あったかなあ、今ひとつ記憶にないけど。蟻の子パワーでコツコツがんばりますよ！と人文書ご担当の池田さんが笑っていた。

池田さんもそうだけど、人文書を愛してくれる人が全国各地にいてくれる。そういうみんなと一生お付き合いしていきたい、と私たち人文会は思う。三条烏丸で二冊、河原町で五冊、神戸三宮で五冊、大阪梅田で七冊、東京新宿で十冊…、コツコツと粘り強く専門書を販売してくださるお店がある。私たちはそんな書店に応援と協力を惜しみなくしていきたいと思う。京都駅に着いた。新幹線のホームに上がると旅行幹事さんが缶ビールとつまみを手に提げていた。少々飲み疲れていたけれど、帰りの新幹線で飲んだビールは美味かった。人文書のあしたに乾杯！未来の可能性を信じて人文会は書店とともに現在を生きよう。大阪・神戸・京都の書店の皆様ありがとうございます。そして旅行に同行してくださったトーハンの田沼様、日販の金田様、大阪屋の兼平様、ありがとうございます。皆様、これからもどうぞよろしくお願いたします。

（2007年10月18日〜20日 大阪・神戸・京都を訪問）

人文会会員社 新刊のご案内

(2007. 11～2008. 3)

哲学・思想

書名	著 編 監 修 者	本体価格	ISBN	出 版 社 名
オックスフォード 科学の肖像 マイケル・フアラデー 科学をすべての人に	オーウェン・ギンガリッチ編集代表	1800	9784272440467	大 月 書 店
現代に生きるグラムシ 市民的ヘゲモニーの思想と現実	黒沢惟昭	4000	9784272430710	大 月 書 店
東洋自然思想とマルクス主義	いいだ・もも	9000	9784275005502	御 茶 の 水 書 房
ラカンはどう読め！	スラヴォイ・ジジェク	1800	9784314010368	紀 伊 國 屋 書 店
21COE-CCC 多文化世界における市民意識の動態 30 福沢諭吉の思想と近代化構想	寺崎修編	3800	9784766414523	慶應義塾大学出版会
熟議の理由	田村哲樹	2800	9784326301744	勁 草 書 房
バーリンの自由論	濱真一郎	5000	9784326101795	勁 草 書 房
フェミニストの法	若林翼	3000	9784326101801	勁 草 書 房
分析哲学の誕生	日本科学哲学会編・野本和幸責任編集	3900	9784326101771	勁 草 書 房
行為と合理性	ジョン・R・サル著 塩野直之訳	3500	9784326199594	勁 草 書 房
個人の連帯	近藤康史	2800	9784326351411	勁 草 書 房
リバタリアニズムと最小福祉国家	橋本祐子	2800	9784326153947	勁 草 書 房
新保守主義の作用	豊永郁子	2800	9784326301737	勁 草 書 房
時間の思想史	瀬戸一夫	7500	9784326101764	勁 草 書 房
ヴェーバーとリベラリズム	佐野誠	3200	9784326351404	勁 草 書 房
反事実的条件法	デイヴィッド・ルイス著 吉満昭宏訳	3800	9784326199525	勁 草 書 房
穴と境界	加地大介	2800	9784393329061	春 秋 社
法と立法と自由 [I] ルールと秩序 ハイエク全集第8巻	F. A. ハイエク著 矢島欽次他訳	4000	9784393621783	春 秋 社

書名	著 編 監 修 者	本体価格	ISBN	出版社名
法と立法と自由〔Ⅱ〕社会正義の幻想 ハイエク全集第9巻	F. A. ハイエク著 篠塚慎吾訳	4000	9784393621790	春秋社
法と立法と自由〔Ⅲ〕自由人の政治的秩序 ハイエク全集第10巻	F. A. ハイエク著	4200	9784393621806	春秋社
インド人の考えたこと インド哲学思想史講義	官元啓一	2300	9784393133712	春秋社
論理のスキルアップ	アン・トムソン著 斉藤浩文他訳	2300	9784393323069	春秋社
誰も知らない 世界と日本のまちがい	松岡正剛	1800	9784393332719	春秋社
合理性の諸問題	ドナルド・デイビッドソン著 金杉武司訳	4000	9784393323113	春秋社
自由の条件Ⅲ 福祉国家における自由 ハイエク全集第7巻	F. A. ハイエク著 気賀健三 古賀勝次郎訳	4200	9784393621776	春秋社
マルクス・コレクションⅡ巻	カール・マルクス	3600	9784480401120	筑摩書房
力学・場の理論 —ランダウ=リフシッツ物理学小教程	L. D. ランダウ・E. M. リフシッツ著・水戸巖・恒藤敏彦他訳	1500	9784480091116	筑摩書房
文化と抵抗	エドワード・W・サイード・デーヴィッド・パーサミアン著・大橋洋一・大貫隆史他訳	1300	9784480091369	筑摩書房
文科系のための DNA 入門	武村政春	720	9784480064080	筑摩書房
自己組織化と進化の論理 —宇宙を貫く複雑系の法則	スチュアート・カウフマン	1600	9784480091246	筑摩書房
世界制作の方法	ネルソン・グッドマン	1300	9784480091253	筑摩書房
真理の哲学	貫成人	740	9784480064134	筑摩書房
思考の補助線	茂木健一郎	720	9784480064158	筑摩書房
存在と無 I	ジャン＝ポール・サルトル	1800	9784480091062	筑摩書房
存在と無 II —現象学的存在論の試み	ジャン＝ポール・サルトル	1700	9784480091079	筑摩書房
存在と無 III —現象学的存在論の試み	ジャン＝ポール・サルトル	1800	9784480091086	筑摩書房
「論語」の話	吉川幸次郎	950	9784480091215	筑摩書房
カントの批判哲学	ジル・ドゥルーズ	880	9784480091307	筑摩書房
人生を〈半分〉降りる —哲学的生き方のすすめ	中島義道	700	9784480424129	筑摩書房
政治の約束	ハンナ・アレント	3000	9784480863805	筑摩書房

書名	著 編 監 修 者	本体価格	I S B N	出 版 社 名
心身の合一	メルロ ポンティ	950	9784480091147	筑 摩 書 房
哲学の誤読 一入試現代文で哲学する！	入不二基義	860	9784480064011	筑 摩 書 房
新しい道徳	藤原和博	760	9784480687739	筑 摩 書 房
生命科学の冒険 一生殖・クローン・遺伝子・脳	青野由利	760	9784480687746	筑 摩 書 房
公共哲学叢書9 グローカル公共哲学 「活私開公」のヴィジョンのために	グローカル公共哲学 「活私開公」のヴィジョンのために	4500	9784130101073	東 京 大 学 出 版 会
死と誕生 ハイデガー・九鬼周造・アーレント	森一郎	5800	9784130160285	東 京 大 学 出 版 会
エウクレイダス全集 第1巻 原論 I—VI	斎藤憲訳・解説、三浦伸夫解説	5200	9784130653015	東 京 大 学 出 版 会
近代日本の思想家 11 吉野作造	松本三之介	3500	9784130141611	東 京 大 学 出 版 会
国家・教会・自由 スピノザとホッブズの旧約テクスト解釈を巡る対抗	福岡安都子	7600	9784130361378	東 京 大 学 出 版 会
圏論による論理学 高階論理とトボス	清水義夫	2800	9784130120579	東 京 大 学 出 版 会
法思想史講義 下 絶対王政期から現代まで	笹倉秀夫	3800	9784130323413	東 京 大 学 出 版 会
人物でみる韓国哲学の系譜	金明順訳	3800	9784535585164	日 本 評 論 社
エッセー3	ミシェル・ド・モンテーニュ	1900	9784560025765	白 水 社
アリストテレスの現象学的解釈	マルティン・ハイデッガー著 高田珠樹訳	2800	9784582702774	平 凡 社
ドゥルーズ／ガタリの現在	小泉義之、鈴木泉、檜垣立哉編著	5800	9784582702736	平 凡 社
普遍論争	山内志朗著	1900	9784582766301	平 凡 社
馮友蘭自伝2 中国現代哲学者の回想	馮友蘭著	3000	9784582807684	平 凡 社
真理と方法Ⅱ	ハンス＝ゲオルク・ガダマー著 饒田収・巻田悦郎訳	4200	9784588001765	法 政 大 学 出 版 局
ヴォルテール書簡集	ヴォルテール著 高橋安光訳	30000	9784588150500	法 政 大 学 出 版 局
絶対の冒険者たち	ツヴェタン・トドロフ著 大谷尚文訳	3700	9784588008849	法 政 大 学 出 版 局
ユダヤ女 ハンナ・アーレント	マルティヌス・レイボヴィッチ著 合田正人訳	5800	9784588008832	法 政 大 学 出 版 局
マルクスとフランス革命	フランソワ・フュレ著 今村仁司・今村真介訳	3800	9784588008825	法 政 大 学 出 版 局
哲学の余白（下）	ジャック・デリダ著 藤本一勇訳	3800	9784588007729	法 政 大 学 出 版 局

書名	著 編 監 修 者	本体価格	ISBN	出版社名
異郷に生きる者	ツヴェタン・トドロフ著 小野 潮訳	3200	9784588008801	法政大学出版局
パークリ	戸田剛文	2800	9784588100109	法政大学出版局
新しい学Ⅰ	ジャンバッティスタ・ヴィーコ著 上村忠男訳	2800	9784588008771	法政大学出版局
自然法と国家学講義—ハイデルベルク大学1817-18年—	ヘーゲル著 高柳良治監訳・神山伸弘他訳	8000	9784588150517	法政大学出版局
映像身体論	宇野邦一	3200	9784622073628	みすず書房
他者という試練	アントワース・ベルマン	6800	9784622073468	みすず書房
構造以来 哲学論集 1970—1993	トーマス・S・クーン	6600	9784622073536	みすず書房
フッサール哲学における発生の問題	ジャック・デリダ	6400	9784622073529	みすず書房
メタ構想力	木前利秋	2800	9784624932572	未来社
無能な者たちの共同体	田崎英明	2400	9784624011772	未来社

心理

心をケアする絵本 ②いまは話したくないの 親が離婚しようとするとき	ジニー・フランツ・ランソン作	1600	9784272406128	大月書店
心をケアする絵本 ③車いすのおねえちゃん 障害のあるきょうだいがいるとき	ステファン・ボーネン著	1600	9784272406135	大月書店
心をケアする絵本 ④おとうとのビー玉	ディールティエンス他作	1600	9784272406142	大月書店
心をケアする絵本 ⑤世界はどうなっちゃうの？	キャロル・シューマン作	1600	9784272406159	大月書店
こわいニュースにおびえたとき				
カウンセリングで何ができるか	信田さよ子	1500	9784272360604	大月書店
この悲しみの意味を知ることができるなら	入江杏	1600	9784393364949	春秋社
内観法	吉本伊信	2000	9784393364963	春秋社
シバの女王の娘 ～躁うつ病の母と向きあって	ジャッキ・ライデン	2400	9784794967220	晶文社
愛着理論と精神分析	ピーター・フォナギー著 遠藤利彦・北山修監訳	3800	9784414414295	誠信書房
自己組織化する学級	蘭千壽・高橋知己	2100	9784414303315	誠信書房

書名	著 編 監 修 者	本体価格	I S B N	出 版 社 名
テキスト臨床心理学 1 理論と方法	G. C. デビソン／J. M. ニール／A. M. クリ ング・下山晴彦編訳	3800	9784414413410	誠 信 書 房
テキスト臨床心理学別巻 理解のための手引き	下山晴彦	2500	9784414413465	誠 信 書 房
性虐待をふせぐ	石川瞭子	2200	9784414400403	誠 信 書 房
服従実験とは何だったのか	トーマス・プラス著／野島久雄・藍澤美紀 訳	5200	9784414302998	誠 信 書 房
人間関係の心理学 第2版	齊藤 勇編	2200	9784414301687	誠 信 書 房
心理臨床における臨床イメージ体験	藤原勝紀／皆藤章／田中康裕	6000	9784422113661	創 元 社
Odyssey 遙かなる憧憬	栗洲美会子	2800	9784422114057	創 元 社
臨床家のための対人関係療法クイックガイド	M. M. ワイスマン著者代表／J. C. マコーウ イツ、G. L. クラーマン著／水島広子訳	3000	9784422114040	創 元 社
医療現場に活かすダンス・ムーブメントセラピー の実践	シャロン・W・グッディル著／平井タカネ 監修	3500	9784422114033	創 元 社
その痛みは「うつ病」かもしれません	大塚明彦	1300	9784794216533	草 思 社
友だち幻想 一人と人の〈つながり〉を考える	菅野仁	720	9784480687807	筑 摩 書 房
友だち地獄 ―「空気を読む」世代のサバイバル	土井隆義	720	9784480064165	筑 摩 書 房
がんを防ぐセルフ・ヒーリング	帯津良一監修 井上朝雄編著	700	9784480424143	筑 摩 書 房
心理課報戦	野田敬生	720	9784480064110	筑 摩 書 房
癒しのチャペル	辛酸なめ子	580	9784480423825	筑 摩 書 房
うつ病	岩波明	720	9784480063946	筑 摩 書 房
ウォームアップ心理統計	村井潤一郎、柏木恵子	2000	9784130120463	東 京 大 学 出 版 会
聴覚障害者の心理臨床 2	村瀬嘉代子・河崎佳子編著	1900	9784535562301	日 本 評 論 社
子どもの精神医学ハンドブック	清水将之	1900	9784535982901	日 本 評 論 社
目からウロコのカウンセリング革命	下園壮太	1800	9784535562592	日 本 評 論 社
逸脱の精神史	酒井明夫	2800	9784535982253	日 本 評 論 社
日本の狂気	ジェリー・S・ビヴェン・勝田有子	2000	9784535562356	日 本 評 論 社
アーティストは境界線上で踊る	斎藤環	3200	9784622073314	み す ず 書 房
精神疾患は脳の病気か？ 向精神薬の科学と虚構	エリオット・ヴァレンスタイン	4200	9784622073611	み す ず 書 房

書名	著 編 監 修 者	本体価格	ISBN	出版社名
環状島＝トラウマの地政学	宮地尚子	2800	9784622073390	みすず書房
発達113号		1200	9784623050840	ミネルヴァ書房
人工内耳とコミュニケーション	黒田生子	1800	9784623050376	ミネルヴァ書房
よくわかる乳幼児心理学	内田伸子編	2400	9784623050000	ミネルヴァ書房

宗教

ホメオパシーの哲学	ジュリアン・カーライオン著 諫早道子訳	3200	9784393710647	春秋社
インドの「一元論哲学」を読む シリーズインド	宮元啓一	2500	9784393133729	春秋社
哲学への招待				
仏画で味わう「法華経」のことば	安達原玄	1300	9784393133644	春秋社
禪といま	奈良康明 編著	1800	9784393133620	春秋社
インテグラル・スピリチュアリティ	ケン・ウィルバー著 松永太郎訳	3500	9784393360477	春秋社
一燈園 西田天香の生涯	三浦隆夫	2300	9784393447192	春秋社
法華経はなにを説くのか	久保継成	1800	9784393133637	春秋社
大乘寺開山 徹通義介禅師関係資料集	東隆真	20000	9784393133712	春秋社
かわいいぶつぞう ふしぎなチカラ	井筒信隆監修	1200	9784393713730	春秋社
密教4 續天台宗全書	天台宗典編纂所編	22000	9784393171271	春秋社
日本の宗教 21世紀をひらく世界と日本宗教	遊佐道子著 箕輪顕量訳	2000	9784393203163	春秋社
現代語訳 講義 成唯識論 巻六	城福雅伸	25000	9784393112465	春秋社
〈無情のいのち〉を生きる	河野太通	1800	9784393144138	春秋社
人生の流れを変える 瞑想クイック・マニュアル	地橋秀雄	1600	9784393199022	春秋社
語録 他 現代語訳 道元禅師全集第14巻	鏡島元隆	6800	9784393150344	春秋社
禪は無の宗教	福島慶道	1800	9784393144145	春秋社
キリストの教え	鈴木崇巨	1800	9784393222058	春秋社
ダライ・ラマ ハートフル・メッセージ	ダライ・ラマ14世	1200	9784393133606	春秋社
大日如来の世界	頼富本広	3200	9784393172803	春秋社
中国宋代禅林高僧 墨跡の研究	胡建明	15000	9784393177068	春秋社
すべての美しい闇のために	長屋和哉	1800	9784393364956	春秋社

書名	著 編 監 修 者	本体価格	ISBN	出版社名
グライ・ラマ 365 日を生きる智慧	グライ・ラマ 14 世	1700	9784393133613	春秋社
惶めて見る	角倉蘿窓	3200	9784393146125	春秋社
神道と修験道	宮家準	8000	9784393291962	春秋社
日本仏教と神祇信仰	菅原信海	5000	9784393191088	春秋社
ローマ・カトリック教会の歴史	エドワード・ノーマン著 百瀬文晃監修／ 月森左知訳	3800	9784422143736	創元社
ブッダの幸福論	アルボムッレ・スマナサーラ	720	9784480687777	筑摩書房
旧約聖書の誕生	加藤隆	3200	9784480847171	筑摩書房
ニュートンの宗教	フランク・E. マニユエル／竹本健訳	2500	9784588008733	法政大学出版局
マドレーヌ＝ソフィー・バラ キリスト教女子教育に捧げられた燃ゆる心	フィル・キルロイ	10000	9784622073604	みすず書房
観音浄土に船出した人びと（歴史文化ライブラリー 250）	根井浄	1700	9784642056502	吉川弘文館
神宮年中行事大成 後篇（増補大神宮叢書 14）	神宮司庁蔵版	10000	9784642003940	吉川弘文館

歴史

植民地期台湾における青年団と地域の変容	宮崎聖子	7600	9784275005717	御茶の水書房
東アジア共生の歴史的基礎	日本・中国・南北コリアの対話	6000	9784275005588	御茶の水書房
世界恐慌期フランスの社会	竹岡敬温	14000	9784275005342	御茶の水書房
境界線上の市民権	村川庸子	7200	9784275005519	御茶の水書房
中世の覚醒 アリストテレス再発見から知の革命へ	リチャード・E. ルーベンスタイン	3600	9784314010399	紀伊國屋書店
流線形シンドローム ―速度と身体の大衆文化誌―	原克	2400	9784314010351	紀伊國屋書店
眠れない一族	ダニエル・T. マックス	2400	9784314010344	紀伊國屋書店
慶應義塾大学東アジア研究所叢書 日中戦争とイスラーム	坂本勉編著	4800	9784766414844	慶應義塾大学出版会

書名	著 編 監 修 者	本体価格	ISBN	出版社名
21COE-CCC 多文化世界における市民意識の動態 36 戦時日本の国民意識	玉井清	4600	9784766414622	慶應義塾大学出版会
文読む姿の西東	田村俊作編	2800	9784766414424	慶應義塾大学出版会
矩を踰えて 明治法制史断章	霞信彦	2000	9784766414431	慶應義塾大学出版会
カルダーノのコスモス	アンソニー・グラフトン著 榎本恵美子・山本啓二訳	4000	9784326101757	勁草書房
国家と音楽 伊澤修二がめざした日本近代	奥中康人	2500	9784393930236	春秋社
だれも知らなかった〈百人一首〉	吉海直人	2000	9784393441626	春秋社
雅楽 時空を超えた遙かな調べ	鳥居本幸代	2500	9784393935217	春秋社
大阪遺跡 ～出土品・遺構は語るなにわ発掘物語～	大阪市文化財協会	1800	9784422201498	創元社
大聖堂ものがたり ～聖なる建築物をつくった人々～	アラン・エルランド＝ブランダンブルグ著 ／池上俊一監修／山田美明訳	1600	9784422211961	創元社
京阪神モダン生活	橋爪紳也	1800	9784422250519	創元社
大大阪イメージ	橋爪紳也	2400	9784422250502	創元社
世界の大宮殿（空から見る驚異の歴史シリーズ）	アンリ・スティルラン／森山隆訳	4300	9784422239842	創元社
フェニキア人	グレン・E・マーコウ	3000	9784422202716	創元社
大江戸異人往来	タイモン・スクリーチ	1000	9784480091345	筑摩書房
日本の百年 4 明治の栄光	橋川文三編	1500	9784480090744	筑摩書房
日本の百年 5 成金天下	今井清一	1500	9784480090751	筑摩書房
日本の百年 6 震災にゆらぐ	今井清一編著	1500	9784480090768	筑摩書房
しくじった皇帝たち	高島俊男	680	9784480423993	筑摩書房
江戸小咄女百態	興津要	700	9784480424099	筑摩書房
仕事と日本人	武田晴人	860	9784480064066	筑摩書房
増補 皇居前広場	原武史	950	9784480091154	筑摩書房
増補 絵画史料で歴史を読む	黒田日出男	1000	9784480091222	筑摩書房
大政翼賛会前後	杉森久英	880	9784480424075	筑摩書房
江戸の教育力	高橋敏	680	9784480063984	筑摩書房

書名	著 編 監 修 者	本体価格	ISBN	出 版 社 名
忠臣蔵	野口武彦	900	9784480091093	筑 摩 書 房
山川健次郎の生涯	星亮一	860	9784480423832	筑 摩 書 房
昭和史残日録 戦後篇	半藤一利	780	9784480423894	筑 摩 書 房
日本を教育した人々	齋藤孝	680	9784480063908	筑 摩 書 房
平安時代の天皇と官僚制	佐藤全敏	6500	9784130262170	東 京 大 学 出 版 会
前近代南インドの社会構造と社会空間	水島司	10000	9784130261333	東 京 大 学 出 版 会
各種学校の歴史的研究 明治東京・私立学校の原風景	土方苑子編	6000	9784130562133	東 京 大 学 出 版 会
木戸孝允関係文書 三	木戸孝允関係文書研究会編, 伊藤 隆 編 集代表	12000	9784130979931	東 京 大 学 出 版 会
遺丘と女神 メソポタミア原始農村の黎明	西秋良宏編	3800	9784130210720	東 京 大 学 出 版 会
歴史学と歴史教育の構図	今野日出晴	7200	9784130262163	東 京 大 学 出 版 会
商人と更紗	深沢克己	6800	9784130210713	東 京 大 学 出 版 会
韓国の科举制度	李成茂	7000	9784535585171	日 本 評 論 社
朝鮮全土を歩いた日本人	河田宏	2200	9784535585157	日 本 評 論 社
ハンガリー革命 1956	ヴィクター・セバスチエン	3800	9784560092064	白 水 社
ボル・ボト	フィリップ・ショート	6800	9784560026274	白 水 社
父 ポース	樋口哲子	1800	9784560031766	白 水 社
機関銃の社会史	ジョンエリス著 越智道雄訳	1400	9784582766356	平 凡 社
江戸はネットワーク	田中優子	1300	9784582766332	平 凡 社
日本語の歴史別巻 言語史研究入門	亀井孝, 大藤時彦, 山田俊雄編集委員	1600	9784582766349	平 凡 社
中国とインドの諸情報 2	家島彦一訳注	2800	9784582807691	平 凡 社
南京事件論争史	笠原十九司	840	9784582854039	平 凡 社
山本五十六	半藤一利	1800	9784582833805	平 凡 社
日本語の歴史 7 世界のなかの日本語	亀井孝, 大藤時彦, 山田俊雄編集委員	1300	9784582766295	平 凡 社
日本は中国でどう教えられているか	西村克仁	760	9784582853988	平 凡 社
外から見た〈日本文化〉	星野勤編	2900	9784588321269	法 政 大 学 出 版 局
朝鮮後期漂流民と日朝関係	李薫 (イ・フン) / 池内敏訳	4500	9784588080272	法 政 大 学 出 版 局

書名	著 編 監 修 者	本体価格	ISBN	出版社名
〈未開〉からの反論	ハンス・ペーター・デュル／津山拓也・藤代幸一訳	9500	9784588008818	法政大学出版局
追込漁（おいこみりょう）	川島秀一	3300	9784588214219	法政大学出版局
日本の人形劇	加藤曉子	2800	9784588300493	法政大学出版局
中世の発見—偉大な歴史家たちの伝記—	ノーマン・F. キャンター／朝倉文市・横山竹己・梅津孝訳	7500	9784588022333	法政大学出版局
第九—世界的讃歌となった交響曲の物語—	ディーター・ヒルデブラント／山之内克子訳	4700	9784588410222	法政大学出版局
教皇と魔女—宗教裁判の機密文書より—	ライナー・デッカー／佐藤正樹・佐々木れい訳	3500	9784588008757	法政大学出版局
ヨーロッパ戦後史 上	トニー・ジャット	6000	9784622073413	みすず書房
風見章日記・関係資料	北河賢三・望月雅士・鬼島淳	13000	9784622073642	みすず書房
ヒトラーを支持したドイツ国民	ロバート・ジェラテリー	5200	9784622073437	みすず書房
ヴィクトリア朝偉人伝	リットン・ストレイチー	3800	9784622073703	みすず書房
イギリス女性運動史 1792—1928	レイ・ストレイチー	9500	9784622073505	みすず書房
大隈重信関係文書 4	早稲田大学大学史資料センター編	10000	9784622082040	みすず書房
後水尾天皇	久保貴子	2800	9784623051236	ミネルヴァ書房
なかった第四号	古田武彦直接編集	2200	9784623050567	ミネルヴァ書房
和宮	辻ミチ子	2200	9784623050949	ミネルヴァ書房
イギリス・ミドルクラスの世界	岩間俊彦著	6500	9784623050260	ミネルヴァ書房
宗峰妙超	竹貫元勝	2800	9784623050703	ミネルヴァ書房
北一輝自筆修正版 国体論及び純正社会主義	長谷川雄一／C・W・A・スビルマン／萩原稔編集	12000	9784623040872	ミネルヴァ書房
昭和・アジア主義の実像	松浦正孝	4800	9784623049424	ミネルヴァ書房
大量虐殺の社会史	松村高夫／矢野久編著	4500	9784623045389	ミネルヴァ書房
高宗・閔妃	木村幹著	3000	9784623050352	ミネルヴァ書房
普通のドイツ人とホロコースト	D. J. ゴールドハーゲン著	8000	9784623039340	ミネルヴァ書房
卑弥呼と神武が明かす古代	内倉武久	2500	9784623049868	ミネルヴァ書房

書名	著 編 監 修 者	本体価格	I S B N	出 版 社 名
久米邦武	高田誠二	3000	9784623050307	ミネルヴァ書房
一休とは何か（歴史文化ライブラリー 244）	今泉淑夫	1700	9784642056441	吉 川 弘 文 館
日本料理の歴史（歴史文化ライブラリー 245）	熊倉功夫	1700	9784642056458	吉 川 弘 文 館
次男坊たちの江戸時代（歴史文化ライブラリー 246）	松田敬之	1800	9784642056465	吉 川 弘 文 館
日米決戦下の格差と平等（歴史文化ライブラリー 247）	板垣邦子	1700	9784642056472	吉 川 弘 文 館
古代の都と神々（歴史文化ライブラリー 248）	榎村寛之	1700	9784642056489	吉 川 弘 文 館
飛鳥の宮と藤原京（歴史文化ライブラリー 249）	林部均	1800	9784642056496	吉 川 弘 文 館
古代インド文明の謎（歴史文化ライブラリー 251）	堀 暁	1700	9784642056519	吉 川 弘 文 館
骨が語る古代の家族（歴史文化ライブラリー 252）	田中良之	1700	9784642056526	吉 川 弘 文 館
西南戦争（歴史文化ライブラリー 253）	猪飼隆明	1700	9784642056533	吉 川 弘 文 館
額田王（人物叢書 249）	直木孝次郎	2200	9784642052429	吉 川 弘 文 館
藤原道長（人物叢書 250）	山中裕	1900	9784642052436	吉 川 弘 文 館
浅井氏三代（人物叢書 251）	宮島敬一	2100	9784642052443	吉 川 弘 文 館
江戸の高利貸（歴史文化セクション）	北原進	1700	9784642063456	吉 川 弘 文 館
古事記の世界観（歴史文化セクション）	神野志隆光	1700	9784642063449	吉 川 弘 文 館
戊辰戦争論（歴史文化セクション）	石井孝	2900	9784642063432	吉 川 弘 文 館
江戸歳時記（歴史文化セクション）	宮田登	1700	9784642063425	吉 川 弘 文 館
日本食生活史（歴史文化セクション）	渡辺実	2700	9784642063418	吉 川 弘 文 館
永原慶二著作選集 第5巻 大名領国制 中世後期の社会と経済	永原慶二	16000	9784642026840	吉 川 弘 文 館
永原慶二著作選集 第6巻 戦国期の政治経済構造 戦国大名と都市	永原慶二	17000	9784642026857	吉 川 弘 文 館
永原慶二著作選集 第7巻 日本中世の社会と国家 中世史の争点	永原慶二	15500	9784642026864	吉 川 弘 文 館

書名	著 編 監 修 者	本体価格	I S B N	出 版 社 名
永原慶二著作選集 第8巻 日本経済史 芋麻・絹・木綿の社会史	永原慶二	17000	9784642026871	吉 川 弘 文 館
永原慶二著作選集 第9巻 歴史学叙説 20世紀日本の歴史学	永原慶二	18000	9784642026888	吉 川 弘 文 館
身分的周縁を考える (身分的周縁と近世社会 9)	高埜利彦他編	3000	9784642065658	吉 川 弘 文 館
文禄・慶長の役 (戦争の日本史 16)	中野等	2500	9784642063265	吉 川 弘 文 館
戊辰戦争 (戦争の日本史 18)	保谷徹	2500	9784642063289	吉 川 弘 文 館
総力戦とデモクラシー (戦争の日本史 21)	小林啓治	2500	9784642063319	吉 川 弘 文 館
近現代日本人物史料情報辞典 3	伊藤隆・季武嘉也編	7500	9784642014472	吉 川 弘 文 館
現代語訳吾妻鏡 2 平氏滅亡	五味文彦・本郷和人編	2300	9784642027090	吉 川 弘 文 館
江戸幕府財政史料集成 上巻	大野瑞男編	19000	9784642034272	吉 川 弘 文 館
日本古代都城制の研究	井上和人	11000	9784642024655	吉 川 弘 文 館
畿島文書伝来の研究	松井輝昭	9000	9784642028745	吉 川 弘 文 館
山県有朋と近代日本	伊藤隆編	9000	9784642037846	吉 川 弘 文 館
服制と儀式の有職故実	佐多芳彦	15000	9784642024662	吉 川 弘 文 館
日本国家の形成と東アジア世界	川勝守	11000	9784642024648	吉 川 弘 文 館
生業から見る日本史	国立歴史民俗博物館編	3000	9784642079877	吉 川 弘 文 館
知っておきたい 日本史の名場面事典	大隅和雄・神田千里・季武嘉也・山本博文他著	2700	9784642079846	吉 川 弘 文 館
日本史年表・地図 (第14版)	児玉幸多編	1300	9784642095044	吉 川 弘 文 館
世界史年表・地図 (第14版)	亀井高孝他編	1400	9784642095051	吉 川 弘 文 館
三宝絵を読む	小島孝之・小林真由美・小峯和明編	11000	9784642024631	吉 川 弘 文 館
近代製糸業の雇用と経営	榎一江	11000	9784642037839	吉 川 弘 文 館
徳川和子	久保貴子	1800	9784642052450	吉 川 弘 文 館
日本人の生活文化	菅原正子	1900	9784642079853	吉 川 弘 文 館
平安貴族の夢分析	倉本一宏	2800	9784642079860	吉 川 弘 文 館
日本中世仏教史料論	上川通夫	9500	9784642028738	吉 川 弘 文 館
江戸幕府放鷹制度の研究	根崎光男	13000	9784642034265	吉 川 弘 文 館

書名	著 編 監 修 者	本体価格	I S B N	出 版 社 名
近世宗教社会論	澤博勝	9500	9784642034258	吉 川 弘 文 館
草の根の婦人参政権運動史	伊藤康子	9000	9784642037822	吉 川 弘 文 館
日本女性史大辞典	金子幸子・黒田弘子・菅野則子・義江明子 編	25000	9784642014403	吉 川 弘 文 館
大航海時代の東アジア	伊川健二	14000	9784642028714	吉 川 弘 文 館
中世の武家と公家の「家」	菅原正子	11500	9784642028721	吉 川 弘 文 館
継体天皇と即位の謎	大橋信弥	2400	9784642079839	吉 川 弘 文 館
誰でも読める 日本近世史年表	吉川弘文館編集部編	4600	9784642014410	吉 川 弘 文 館
満鉄四十年史	財団法人満鉄会編	12000	9784642037815	吉 川 弘 文 館
鎌倉幕府体制成立史の研究	三田武繁	13000	9784642028707	吉 川 弘 文 館
中世寺院勢力論	衣川仁	9000	9784642028691	吉 川 弘 文 館

社会

ホームレスと自立／排除 路上に〈幸福を夢見る 権利〉はあるか	笹沼弘志	2600	9784272330539	大 月 書 店
性的支配と歴史 植民地主義から民族浄化まで	宮地尚子編著	2800	9784272350278	大 月 書 店
素敵にシニアライフ 老いに向かって生きるふた り	村瀬敦子・村瀬幸浩	1500	9784272330522	大 月 書 店
不安な経済／漂流する個人 新しい資本主義の労 働・消費文化	リチャード・セネット	2300	9784272430734	大 月 書 店
リキッド・ライフ 現代における生の諸相	ジグムント・バウマン	2800	9784272430741	大 月 書 店
「セックスワーカー」とは誰か 移住・性労働・ 人身取引の構造と経験	青山薫	3800	9784272350261	大 月 書 店
高齢者の住まいとケア	嶺学編	4200	9784275005670	御 茶 の 水 書 房
アジア学への誘い	明治大学政治経済学部創設百周年記念叢書 刊行委員会編	1800	9784275005700	御 茶 の 水 書 房
現代韓国民主義の新展開	徐勝監修	3000	9784275005724	御 茶 の 水 書 房

書名	著 編 監 修 者	本体価格	ISBN	出版社名
〈文化〉を考える	岩手大学人文社会科学部文化システムコース編	2500	9784275005731	御茶の水書房
鉄鋼業の労働編成と能力開発	木村保茂・藤澤建二・永田萬亨・上原慎一著	5200	9784275005687	御茶の水書房
女性文化と文学	昭和女子大学女性文化研究所編	4500	9784275005663	御茶の水書房
移動する人びと、変容する文化	白水繁彦編	2400	9784275005601	御茶の水書房
在日外国人と日本社会のグローバル化	神奈川大学人文学研究所編	4600	9784275005632	御茶の水書房
津軽近代化のダイナミズム	山下祐介・作道信介・杉山祐子編	9000	9784275005649	御茶の水書房
グローバル・ツーリズムの進展と地域コミュニティの変容	吉原直樹編著	7800	9784275005557	御茶の水書房
希望の分配メカニズム	ガッサン・ハージ	2800	9784275005595	御茶の水書房
イノシシ狩猟の民族考古学	野林厚志	5400	9784275005564	御茶の水書房
東アジア村落の基礎構造	柿崎京一 陸学藝 金一鐵 矢野敬生 編	8400	9784275005533	御茶の水書房
「韓流」のうち外	徐勝 黄盛彬 庵澄由香 編	2800	9784275005526	御茶の水書房
中国農村の共同組織	小林一穂・劉文静・秦慶武	5400	9784275005458	御茶の水書房
親子になる	絆の会編	2400	9784275005427	御茶の水書房
21COE-CCC 多文化世界における市民意識の動態 31 戦後日本における市民意識の形成	浜日出夫編	3000	9784766414530	慶應義塾大学出版会
21COE-CCC 多文化世界における市民意識の動態 38 多文化多世代交差世界における市民意識の形成	渡辺秀樹・有末賢編	3600	9784766414646	慶應義塾大学出版会
21COE-CCC 多文化世界における市民意識の動態 43 ニュース報道と市民の対外国意識	伊藤陽一・河野武司編	3400	9784766414691	慶應義塾大学出版会
純潔の近代	デビッド・ノッター	2500	9784766414233	慶應義塾大学出版会
大日本帝国のクレオール	フェイ・阮 (ユアン)・クリーマン	3200	9784766414400	慶應義塾大学出版会
女性と美の比較文化	鳥越成代・東京女子大学女性学研究所編	2200	9784326653348	勁草書房
「家庭教育」の隘路	本田由紀	2000	9784326653331	勁草書房
社会福祉の基本体系 第4版	井村圭壯・相澤謙治編著	2400	9784326700585	勁草書房
何が育児を支えるのか	松田茂樹	2800	9784326602087	勁草書房

書名	著 編 監 修 者	本体価格	ISBN	出版社名
移民大国イギリスの実験	佐久間孝正	3000	9784326298884	勁 草 書 房
マックス・ヴェーバーにとって社会学とは何か	折原浩	2800	9784326653324	勁 草 書 房
テレビニュースの世界像	萩原滋編著	3500	9784326602070	勁 草 書 房
社会福祉学の〈科学〉性	三島亜紀子	3000	9784326602063	勁 草 書 房
階層化する社会意識	吉川徹編著	3200	9784326602056	勁 草 書 房
格差のメカニズム	浜田宏	3000	9784326602049	勁 草 書 房
不安定雇用という虚像	佐藤博樹・小泉静子	2000	9784326653317	勁 草 書 房
サウンドスケープの詩学 フェールド編	鳥越けい子	2500	9784393935330	春 秋 社
全身当事者主義 死んでたまるか戦略会議	雨宮処凛	1700	9784393332788	春 秋 社
小笠原流 弓と礼のころ	小笠原清忠	1900	9784393332740	春 秋 社
今すぐ役立つ介護シリーズ9 入院・介護 SOS	おちとよこ	1500	9784422320793	創 元 社
海神襲来	広瀬公巳	2000	9784794216526	草 思 社
盛りを過ぎてもへこたれない国イギリスに学べ	マークス寿子	1500	9784794216441	草 思 社
加害者は変わるのか? ——DVと虐待をみつめながら	信田さよ子	1500	9784480842831	筑 摩 書 房
女子の古本屋	岡崎武志	1400	9784480877871	筑 摩 書 房
資本主義のパラドックス 一楢円幻想	大澤真幸	1300	9784480091376	筑 摩 書 房
増補 明治の迷宮都市	橋爪紳也	1200	9784480091383	筑 摩 書 房
世界はもっと豊かだし、人はもっと優しい	森 達也	780	9784480424204	筑 摩 書 房
医者が病院から逃げ出すとき	米山公啓	680	9784480424211	筑 摩 書 房
「心」が支配される日	斎藤貴男	1700	9784480842787	筑 摩 書 房
高校野球「裏」ビジネス	軍司貞則	720	9784480064073	筑 摩 書 房
3年で辞めた若者はどこへ行ったのか —アウトサイダーの時代	城繁幸	720	9784480064141	筑 摩 書 房
殺人現場を歩く	蜂巢敦著 山本真人・写真	800	9784480424006	筑 摩 書 房
「中国問題」の内幕	清水美和	740	9784480064097	筑 摩 書 房
ヤクザと日本 —近代の無頼	宮崎学	780	9784480063960	筑 摩 書 房
北朝鮮 vs. アメリカー「偽米ドル」事件と大国のパワー・ゲーム	原田武夫	700	9784480064059	筑 摩 書 房

書名	著 編 監 修 者	本体価格	I S B N	出 版 社 名
ほんとはこわい「やさしさ社会」	森真一	760	9784480687753	筑 摩 書 房
僕らの憲法学 ―「使い方」教えます	田村理	760	9784480687760	筑 摩 書 房
コミュニティ ―安全と自由の戦場	ジグムント・パウマン	2600	9784480867179	筑 摩 書 房
生き地獄天国 ―雨宮処凛自伝	雨宮処凛	600	9784480423979	筑 摩 書 房
「戦争」に強くなる本 ―入門・アジア太平洋戦争	林信吾	800	9784480424068	筑 摩 書 房
大人の敬語コミュニケーション	蒲谷宏	680	9784480063953	筑 摩 書 房
丹精で繁盛 ―物づくりの現場を見にゆく	瀬戸山玄	720	9784480063991	筑 摩 書 房
ウェブ時代の暗号 ―ネットセキュリティの挑戦	熊谷直樹	700	9784480064028	筑 摩 書 房
「長寿食」世界探検記	家森幸男	840	9784480423740	筑 摩 書 房
ウェブ時代をゆく	梅田望夫	740	9784480063878	筑 摩 書 房
グローバル社会と情報的世界観 現代社会の構造変容	正村俊之	4600	9784130501705	東 京 大 学 出 版 会
講座社会学 13 階層	直井優編、藤田英典編	3800	9784130551137	東 京 大 学 出 版 会
女性の就業と家族のゆくえ 格差社会のなかの変容	岩間暁子	3800	9784130561037	東 京 大 学 出 版 会
福祉 NPO の社会学	安立清史	5700	9784130560658	東 京 大 学 出 版 会
薬害 HIV 感染被害者遺族の人生 当事者参加型リサーチから	山崎喜比古編、井上洋士編	4800	9784130664059	東 京 大 学 出 版 会
マックス・ヴェーバー	今野元	9500	9784130362306	東 京 大 学 出 版 会
越境する雇用システムと外国人労働者	丹野清人	5700	9784130561020	東 京 大 学 出 版 会
現代地域メディア論	田村紀雄他	2100	9784535585096	日 本 評 論 社
オオカミと生きる	ヴェルナー・フロイント	2800	9784560040782	白 水 社
ヨーロッパ市民とは誰か	エティエンヌ・バリバル著 松葉祥一、 亀井大輔＝訳	4600	9784582702729	平 凡 社
新版 対日関係を知る事典	平野健一郎・牧田東一監修	4200	9784582126372	平 凡 社
世界の狩猟民	カールトン・スティーヴンズ・クーン / 平野温美・鳴島史之訳	5200	9784588022340	法 政 大 学 出 版 局

書名	著 編 監 修 者	本体価格	I S B N	出 版 社 名
ホモ・ネカーンスー古代ギリシアの犠牲儀礼と神話—	ヴォルター・ブルケルト / 前野佳彦訳	9500	9784588371141	法政大学出版局
グローバル市民社会論—戦争へのひとつの回答—	メアリー・カルドー / 山本武彦他訳	2800	9784588622083	法政大学出版局
個人データ保護	名和小太郎	3200	9784622073635	みすず書房
マクルーハンの光景 メディア論がみえる 理想の教室	宮澤淳一	1600	9784622083283	みすず書房
イラク戦争のアメリカ	ジョージ・バッカー	4200	9784622073482	みすず書房
<海賊版 >の思想 18世紀英国の永久コピーライト闘争	山田奨治	2800	9784622073451	みすず書房
福祉社会の再構築	小國英夫・小笠原慶彰・柴田周二・妻鹿ふみ子編著	4500	9784623050819	ミネルヴァ書房
ソーシャルワーク論	北島英治	2600	9784623051175	ミネルヴァ書房
森林文化の社会学	西川静一	7000	9784623050642	ミネルヴァ書房
地域福祉論	野口定久	2600	9784623050727	ミネルヴァ書房
雇用流動化のなかの家族	松橋恵子・宮本みち子編著	2800	9784623050505	ミネルヴァ書房
排泄ケアが暮らしを変える	浜田きよ子	1800	9784623050857	ミネルヴァ書房
社会福祉	八木義雄・秋川陽一・倉石哲也監修	2000	9784623050048	ミネルヴァ書房
児童福祉	八木義雄・秋川陽一・倉石哲也監修	2200	9784623050062	ミネルヴァ書房
子どもと家庭の支援と社会福祉	北川清一 / 小林理編著	2000	9784623050468	ミネルヴァ書房
出郷者たちの都市空間	山口覚	5000	9784623050581	ミネルヴァ書房
社会福祉の基礎資料 2008	山縣文治監修	1500	9784623051182	ミネルヴァ書房
現代中国の社会と福祉	王 文亮編著	2500	9784623050192	ミネルヴァ書房
社会福祉の理解	北川清一 / 遠藤興一編著	2000	9784623050444	ミネルヴァ書房
社会福祉の支援活動	北川清一 / 久保美紀編著	2000	9784623050451	ミネルヴァ書房
既婚女性の就業とネットワーク	安河内恵子編著	6500	9784623051205	ミネルヴァ書房
社会福祉小六法 2008	ミネルヴァ書房編集部編	1600	9784623050185	ミネルヴァ書房
生活支援のための福祉用具と住宅改修	和田光一・筒井澄栄著	2000	9784623040957	ミネルヴァ書房
ミネルヴァ社会福祉六法 2008 (平成 20 年版)	野崎和義監修 ミネルヴァ書房編集部編	2500	9784623050369	ミネルヴァ書房

書名	著 編 監 修 者	本体価格	ISBN	出版社名
これでいいのか少子化対策	増田雅暢	2000	9784623050734	ミネルヴァ書房
必携訪問介護ハンドブック	京都福祉サービス協会編集委員会編	1600	9784623050895	ミネルヴァ書房
チーム力を高めるホームヘルパー育成ハンドブック	京都福祉サービス協会編集委員会編	1800	9784623050901	ミネルヴァ書房
日常的貧困と社会的排除	宮坂順子	5500	9784623049523	ミネルヴァ書房
社会保障改革	土田武史 / 田中耕太郎 / 府川哲夫編著	4000	9784623049875	ミネルヴァ書房
テキスト現代ジャーナリズム論	石澤靖治	2800	9784623050321	ミネルヴァ書房
日本の家族とライフコース	平井晶子	5000	9784623049639	ミネルヴァ書房
虐待大国アメリカの苦闘	原田綾子	3400	9784623050208	ミネルヴァ書房
テキスト現代社会学 (第2版)	松田健	2800	9784623049769	ミネルヴァ書房
福祉のための法学 [第2版増補]	野崎和義	3500	9784623049219	ミネルヴァ書房
NPOと公共サービス	L. M サラモン著 江上哲監訳	5500	9784623034895	ミネルヴァ書房
人口減少時代の社会福祉学	小田兼三 / 竹内一夫 / 田淵創 / 牧田満知子編著	3600	9784623049516	ミネルヴァ書房
情報福祉論	川村匡由編著	2000	9784623049950	ミネルヴァ書房
第三の消費文化論	間々田孝夫	2800	9784623049899	ミネルヴァ書房
現代人口学の射程	稲葉寿	4000	9784623050178	ミネルヴァ書房
韓国社会事業史	朴貞蘭著	6500	9784623035601	ミネルヴァ書房
よくわかる宗教社会学	櫻井義秀 / 三木英編	2400	9784623049967	ミネルヴァ書房
はじめての社会福祉	「はじめての社会福祉」編集委員会編	2200	9784623048564	ミネルヴァ書房
よくわかる養護内容・自立支援	小木曾宏・宮本秀樹・鈴木崇之編	2200	9784623048748	ミネルヴァ書房
格差不安時代のコミュニティ社会学	金子勇	3500	9784623049226	ミネルヴァ書房
文化の受容と変貌	荒このみ / 生井英考編著	4200	9784623049455	ミネルヴァ書房
ワークライフバランス入門	荒金雅子 / 小崎恭弘 / 西村智	1500	9784623050284	ミネルヴァ書房
障がい者・児共生とは何か	曾和信一	2200	9784623050314	ミネルヴァ書房
私の日本地図 第9巻 瀬戸内海Ⅲ 周防大島	宮本常一著 香月洋一郎編	2200	9784624924942	未 来 社
比較史のなかのドイツ農村社会	肥前榮一	4500	9784624321734	未 来 社
公共善の政治学——ウェーバー政治思想の原理的再構成	雀部幸隆	4500	9784624301057	未 来 社

書名	著 編 監 修 者	本体価格	I S B N	出 版 社 名
宮本常一著作集第 49 巻 塩の民俗と生活	宮本常一著 田村善次郎編	4200	9784624924492	未 來 社
教育				
新自由主義教育改革	佐貫浩・世取山洋介編	3600	9784272411917	大 月 書 店
子ども学 その源流へ 日本人の子ども観はどう変わったか	野上暁	2000	9784272411924	大 月 書 店
保護者の常識と非常識 学校へのクレームをどう受けとめるか	柿沼昌芳・永野恒雄	1500	9784272411931	大 月 書 店
くらべてわかる食品図鑑 ⑤野菜とくだもの	家庭科教育研究者連盟編著	1800	9784272406050	大 月 書 店
書で自己表現	須田章七郎	1800	9784272411900	大 月 書 店
くらべてわかる食品図鑑 ④魚と海そう	家庭科教育研究者連盟編著	1800	9784272406043	大 月 書 店
新版 大学生の学習テクニク	森靖雄著	1800	9784272411894	大 月 書 店
公共図書館の論点整理	田村俊作・小川俊彦編	2400	9784326098330	勁 草 書 房
特別支援教育の新たな展開	柘植雅義	2800	9784326298891	勁 草 書 房
日本の教育を拓く	筑波大学附属学校教員 編	1900	9784794967145	晶 文 社
子どもにいちばん教えたいこと	レイフ・エスキス	1500	9784794216595	草 思 社
増補新版 教育とはなんだ	重松 清編著	760	9784480424242	筑 摩 書 房
幸せになる力	清水義範	700	9784480687791	筑 摩 書 房
子どもをナメるな 一賢い消費者をつくる教育	中島 隆信	700	9784480063977	筑 摩 書 房
教師の語りと新教育 「児童の村」の 1920 年代	浅井幸子	6200	9784130562140	東 京 大 学 出 版 会
贈与と交換の教育学 漱石、賢治と純粋贈与のレッスン	矢野智司	5400	9784130513135	東 京 大 学 出 版 会
よくわかる生涯学習	香川正弘・鈴木眞理・佐々木英和編	2500	9784623049615	ミ ネ ル ヴ ァ 書 房
発達障害の早期支援	大神英裕	2500	9784623050994	ミ ネ ル ヴ ァ 書 房
ふしぎだね 聴覚障害のおともだち	倉内紀子監修	1800	9784623051083	ミ ネ ル ヴ ァ 書 房
ふしぎだね 視覚障害のおともだち	千田耕基監修	1800	9784623051090	ミ ネ ル ヴ ァ 書 房
輝け きょうの子どもたち	京都市立総合支援学校長会 / 京都市教育委員会総合育成支援課編	1500	9784623050512	ミ ネ ル ヴ ァ 書 房

書名	著 編 監 修 者	本体価格	ISBN	出版社名
教育の制度と歴史	広岡義之編著	2400	9784623050345	ミネルヴァ書房
批評・評論				
オックスフォード 科学の肖像 フロイト 無意識の世界への探検	オーウェン・ギンガリッチ編集代表	2100	9784272440474	大月書店
言葉と戦争	藤井貞和	2500	9784272430727	大月書店
社会理論における「理論」と「現実」	仲正昌樹編	3200	9784275005625	御茶の水書房
僕はこんな日常や感情でできています —サブカルチャー日記—	阿部嘉昭	1900	9784794967169	晶文社
本の本 ——書評集 1994—2007	斎藤美奈子	2800	9784480814876	筑摩書房
セックスがこわい ——精神科で語られる愛と性の話	香山リカ	1300	9784480842848	筑摩書房
スタンツェ —西洋文化における言葉とイメージ	ジョルジョ・アガンベン著・岡田温司訳	1400	9784480091314	筑摩書房
世界の指揮者 吉田秀和コレクション	吉田秀和	1300	9784480423924	筑摩書房
大相撲の経済学	中島隆信	680	9784480424280	筑摩書房
早わかり世界の文学 —バスティーシュ読書術	清水義範	680	9784480064042	筑摩書房
小津ごのみ	中野翠	1400	9784480873569	筑摩書房
かたり —物語の文法	坂部恵	950	9784480091338	筑摩書房
打たれ強くなるための読書術	東郷雄二	680	9784480064103	筑摩書房
読み上手 書き上手	齋藤孝	760	9784480687784	筑摩書房
武満徹 対談選 —仕事の夢 夢の仕事	武満徹	1400	9784480091291	筑摩書房
不良定年	嵐山光三郎	680	9784480424112	筑摩書房
文学賞メッタ斬り!	大森望 豊崎由美	740	9784480424136	筑摩書房
こんなに使える経済学 —肥満から出世まで	大竹文雄編	680	9784480064004	筑摩書房
できる大人はこう考える	高瀬淳一	680	9784480064035	筑摩書房
私の好きな曲 吉田秀和コレクション	吉田秀和	1300	9784480423917	筑摩書房
音楽が聞える —詩人たちの楽興のとき	高橋英夫	2500	9784480823625	筑摩書房
増補 敗北の二十世紀	市村弘正	1000	9784480091031	筑摩書房

書名	著 編 監 修 者	本体価格	I S B N	出 版 社 名
挑発する知	姜尚中 宮台真司	780	9784480423870	筑 摩 書 房
自由に生きるとはどういう	橋本努	780	9784480063939	筑 摩 書 房
都市の詩学	田中純	3800	9784130101066	東 京 大 学 出 版 会
翻訳の作法	斎藤兆史	2200	9784130821308	東 京 大 学 出 版 会
シュルレアリスム、あるいは痙攣する複数性	鈴木雅雄	3400	9784582702743	平 凡 社
ブリューゲル探訪——民衆文化のエネルギー	森洋子	4800	9784624710866	未 來 社
ベンヤミンの通行路	大宮勘一郎	2800	9784624011765	未 來 社

人文会会員名簿

〒101-0021 千代田区外神田 2-18-6 春秋社内

2008 年 5 月末現在

社 名	担当者	〒	住 所	電 話	FAX
大 月 書 店	駒谷 光彦	113-0033	文京区本郷 2-11-9	3813-4651	3813-4656
御茶の水書房	平石 修	113-0033	文京区本郷 5-30-20	5684-0751	5684-0753
紀伊國屋書店	三橋 直也	153-8504	目黒区下目黒 3-7-10	6910-0519	6420-1354
慶應義塾大学出版会	小林 丈生	108-8346	港区三田 2-19-30	3451-6926	3451-3124
勁 草 書 房	吉武 創	112-0005	文京区水道 2-1-1	3814-6861	3814-6854
春 秋 社	鎌内 宣行	101-0021	千代田区外神田 2-18-6	3255-9611	3253-1384
晶 文 社	高橋 千代	101-0021	千代田区外神田 2-1-12	3255-4501	3255-4506
誠 信 書 房	新保 卓夫	112-0012	文京区大塚 3-20-6	3946-5666	3945-8880
創 元 社	華園 齊	162-0825	新宿区神楽坂 4-3 煉瓦塔ビル	3269-1051	5229-7139
草 思 社	浴野 英生	112-0014	文京区関口 1-13-19	3235-0070	3235-0032
筑 摩 書 房	戸田 浩	111-8755	台東区蔵前 2-5-3	5687-2680	5687-2685
東京大学出版会	橋元 博樹	113-8654	文京区本郷 7-3-1	3811-8814	3812-6958
日 本 評 論 社	江波戸 茂	170-8474	豊島区南大塚 3-12-4	3987-8621	3987-8590
白 水 社	小倉 研二	101-0052	千代田区神田小川町 3-24	3291-7811	3291-8448
平 凡 社	根井 浩一	112-0001	文京区白山 2-29-4 (泉白山ビル)	3818-0874	3818-0674
法政大学出版局	成田 共助	102-0073	千代田区九段北 3-2-7	5214-5540	5214-5542
み す ず 書 房	田崎 洋幸	113-0033	文京区本郷 5-32-21	3814-0131	3818-6435
ミネルヴァ書房	三上 直樹	101-0054	千代田区神田錦町 3-6 石沢ビル 3F	3296-1615	3296-1620
未 來 社	水谷 幹夫	112-0002	文京区小石川 3-7-2	3814-5521	3814-8600
吉 川 弘 文 館	馬場 正彦	113-0033	文京区本郷 7-2-8	3813-9151	3812-3544

会 長	菊池明郎 (筑摩書房)
代表幹事	鎌内宣行
会計幹事	平石 修
書記幹事	新保卓夫

(◎委員長 ○副委員長)

販売委員会	・企画グループ	○華園 齊・江波戸茂・駒谷光彦・水谷幹夫
	・研修グループ	◎田崎洋幸・小倉研二・三橋直也
	・図書館グループ	○橋元博樹・成田共助・馬場正彦
広報委員会	・広報グループ	◎吉武 創・三上直樹・高橋千代・根井浩一
	・ホームページグループ	○浴野英生・小林丈生・戸田 浩

創元社

臨床家のための
対人関係療法クイックガイド
現場での実用を重視した待望の I P T ガイ
ドブック。M・ワイスマン著者代表 3,150円

ライバル日本美術史
同時代の好敵手と切磋琢磨する芸術家たち
30人の生き様を活写。室伏哲郎著 2,100円

知の再発見双書136
大聖堂ものがたり
——聖なる建築物をつくった人々
中世ヨーロッパの建築家や職人集団の技術、
組織、歴史を詳説。池上俊一監修 1,680円

ヴォーリス建築の100年
——恵みの居場所をつくる
カラー約180点、モノクロ約200点の写真を
収載した図録集。山形政昭監修 2,625円

〈本社〉大阪市中央区淡路町4-3-6 〈税込価〉
Tel. 06-6231-9010 Fax. 06-6233-3111
〈支店〉東京都新宿区神楽坂4-3 Tel. 03-3269-1051
<http://www.sogensha.co.jp/>

歴史科学協議会編／木村茂光・山田 朗監修

天皇・天皇制をよむ

「天皇」天皇制を考ふるうえで知っておきたい重要な知識を六九項目
にわたって読み解く入門書。
A5判 302頁／2940円

死生学

全5巻刊行開始！ ■内容見本送呈

島菌 進・竹内整一編 A5判 288頁／2940円

①死生学とは何か (第1回配本)

現代の死生観を多彩な執筆陣が探究。東京大学C.O.の成果を発信。

東京大学出版会

〒113-8654 文京区本郷7-3-1
TEL 03-3811-8814 <http://www.utp.or.jp/>
〔価格税込〕

ここまで読めたら、すごい。
ここまで言えたら、面白い。

斎藤美奈子
本の本
書評集 1994-2007

斎藤美奈子の本領発揮！『妊娠小説』
でデビューしてから今日まで膨大な本の
山と格闘し書き続けられた書評を集成。
読書の醍醐味をあらためて思い知らされ
る渾身の一冊。こんなふうに読んでみたい！
堂々740頁 定価2940円(税込)

筑摩書房

サービスセンター ☎048(651)0053
<http://www.chikumashobo.co.jp/>

●子どもの「こころ」の援助にたずさわるすべての人に！

子どもの精神医学 ハンドブック

清水将之／著

◇1995円

精神科薬物治療を語ろう

精神科医からみた官能的評価

神田橋條治・兼本浩祐・熊木徹夫／編

◇2520円

◎日本評論社 東京都豊島区南大塚3-12-4
<http://www.nippyo.co.jp/> TEL: 03-3987-8621 (価格は税込)

法政大学出版局

<http://www.h-up.com/>

〈啓蒙の世紀〉最大の情報センター!!

ヴォルテール 書簡集

1704-1778

Voltaire Correspondance

高橋安光 編訳

18世紀の啓蒙思想家ヴォルテールが生涯に書いた1万5千通を超える手紙の中から、1704~78年の74年間にわたる1081通を編訳。当時のヨーロッパ社会の生活・世相・人間関係はじめ、さまざまな精神的生産の舞台裏を、リアルかつ率直に記録した〈手紙の時代〉最大の精神的遺産 A5判・1350頁・上製貼函入/31,500円

〒102-0073 東京都千代田区九段北 3-2-7
☎ 03 (5214) 5540 / 表示価格は税込です

◎ある悪夢の歴史
フィリップ・シヨート／著 山形浩生／訳
闇に包まれた圧政者の生涯を追いつながら、クメール・ルージュの蛮行と虐殺の真相、カンボジアが見た〈悪夢〉の実態に迫る。

ポル・ポト

「ジェノサイド
大量虐殺」はなぜ起きたのか?

■7140円

白水社 東京都千代田区神田小川町 3-24
tel.03-3291-7811 / fax.03-3291-8448
<http://www.hakusuisha.co.jp/> * 価格は税込

個人データ保護

名和太郎 市民生活との軋みを論点に、法の欠落と技術の過剰を指摘し、対立する利害を評する問題提起の書。 三〇〇円

映像身体論

宇野邦一 「時間イメージ」の諸相を探り、「身体映画」の可能性を切り開く。ドゥルーズ「シネマ」への応答。 三〇〇円

芸術家とデザイナー

ムナリ この二つの創造活動、レコが違ふの? あの手この手の比較でわかる、モノづくりの精神。 書野有美訳 三〇〇円

ヨーロッパ戦後史

ジャット 互確から再生する東西欧州。その繁栄と絶望を克明に描く注目すべき歴史家の大著。全9巻。 森本龍訳 三〇〇円

上 1945-1971

ヨーロッパ市民 とは誰か

境界・国家・民衆

エティエンヌ・バリバル 著

松葉祥一、亀井大輔 訳

主題は統合ヨーロッパにおける市民権の問題。「移民」という具体的問題の検討から、国家主権の本質、国境の必然性などを原理的に問う力作。 四六判 ●4830円

アリストテレスの 現象学的解釈

「存在と時間」への道

マルティン・ハイデガー 著／高田珠樹 訳

「ナトルプ報告」と呼ばれ、「存在と時間」の原型となった幻の初期草稿である本書。ハイデガーの原モチーフが初めて現れたハイデガー哲学誕生の原点。 四六判 ●2940円

平凡社

〒112-0001 東京都文京区白山2-29-4 [価格税込]
TEL 03-3818-0874 <http://www.heibonsha.co.jp/>

みすず書房 (税込)

東京本郷 5-32-21 <http://www.mszo.co.jp>

おかげさまで、通巻60冊
ミネルヴァ日本評伝選

福澤諭吉

平山 洋

厳密な史料解釈をもとに、自伝で語られ
なかつた真の人物像に迫る。3150円

西田天香

宮田昌明

京都・四宮の一燈園で自らの「無」の思
想を実践した思想家の生涯。3150円

既刊 久米邦武 松永安左工門
高田誠二 橋川武郎

ミネルヴァ書房

〒607-8494 京都市山科区日ノ岡堤谷町1
TEL075-581-0296 価格税込み/宅配可

語り継がれてきたあの名シーンがよみがえる！
知っておきたい

A5判/2600円
内容案内送呈

日本史の名場面事典

大隅和雄・神田千里・季武嘉也著
森 公章・山本博文・義江彰夫著
日本史の転機となった名場面が、
詳細平易な解説と臨場感あふれる
豊富な図版で鮮やかによみがえる。



大化の改新・平家滅亡、謡曲「鉢木」、川中島合戦、赤穂浪士の
討ち入り、白虎隊の悲劇、玉音放送、東京オリンピック…。

吉川弘文館

東京都文京区本郷7-2 / 電話 03-3813-9151

価格
税込

例外状態

G・アガンベン著 上村忠男・中村勝己訳
法秩序と生とのあいだの間に降り立ったところからの政治
への問いかけ。「ホモ・サケル」シリーズ第三弾！

無能な者たちの共同体

「無能な者たち」による「共同体」の条件、可能性と潜在性が枯
渇したところから始まる政治の思考と生の形式とはなにか。

ベンヤミンの通行路

大宮勸一郎著
不断の旅行者ヴァルター・ベンヤミン。その旅行と都市をめ
ぐるテキストにベンヤミンの「問い」を聞く。

堀一郎著作集全八巻

■九九五〇円(分売可)

9条を輸出せよ！

非軍事・平和構築の時代へ
吉岡達也著 世界の人びととの対話
から生まれた体験的平和論 ◆1575円

閻こそ皆 上野英信の軌跡

川原一之著 記録の鬼とよばれた作
家・上野英信を描く傑作評伝 ◆2730円

性的支配と歴史

植民地主義から民族浄化まで
宮地尚子編 第一線の研究者達が領
域横断的に取り組んだ論集 ◆2940円

リキッド・ライフ

現代における生の諸相
ジグムント・バウマン著 ◆2940円

フロイト

無意識の世界への探検
オックスフォード 科学の肖像
O・ギンガリッチ編集代表 ◆2205円

大月書店 東京都文京区本郷2-11-9
電話03(3813)4651〈代表〉
<http://www.otsukishoten.co.jp/> (税込)

未来社

※表示価格は税込
〒112-0002 東京都文京区小石川3-7-2
tel.03-3814-5521 www.miraisha.co.jp/

慶應義塾大学出版会
http://www.keio-up.co.jp

大日本帝国の クレオール

植民地期台湾の日本語文学

フェイ・阮・クリーマン著／林ゆう子訳
大日本帝国統治下にあった台湾・南方に
おける、クレオール文学論。植民地体験の
実相を浮上させる渾身の力作。●3360円

純潔の近代

近代家族と親密性の比較社会学

デビッド・ノッター著 近代日本にお
ける「愛」の歴史を辿り、日本近代の
家族制度、結婚制度、文化の特徴をあ
きらかにする。●2625円

〒108-8346 東京都港区三田2-19-30 【価格税込】
Tel 03-3451-3584 Fax 03-3451-3122

宇野弘蔵先生没後三〇年記念出版
『資本論』と私 宇野弘蔵著
櫻井毅解説

二九四〇円

『韓流』のうち外

韓国文化力と
東アジアの融合反応

徐勝・黄盛彬・庵澄由香編 一九四〇円

希望の分配メカニズム

パライノア・
ナショナリズム批判

ガッサン・ハージ著／塩原良和訳 一九四〇円

社会理論における「理論」と「現実」

叢書・アレティア9 仲正昌樹編 三三六〇円

御茶の水書房

〒113-0033 東京都文京区本郷5-30-20
TEL 03-5684-0751 FAX 03-5684-0753 (税込)

人文会ニュース

100号記念号

特別寄稿「人文書に期待するもの」
……坪内祐三

インタビュー相田良雄さんに聞く
人文会の活動を振り返って
……菊池明郎

書店人10人からのメッセージ
飯室茂樹 市橋昌明 森雅夫 岡充孝
古田一晴 隅山泰助 横井邦光
矢野哲郎 村越武 駒瀬丹人

100号記念特別座談会
「人文書をどう創り、どう売るか」
糸日谷智 宇田智子 神矢真由美
新藤頭一 関剛士 藤崎寛之 橋元育

発行所 人文会 春秋社内 (年3回発行)

経済は 感情で動く



はじめての行動経済学

M・モッテルリーニ／泉典子訳 交渉は最後の一言で決まる。投資に失敗したわけ。会議を支配する最初の発言。価格が三つあると真ん中を選ぶ。クイズ形式でやさしく説く、最新の経済学。◆1680円

紀伊國屋書店

出版部：東京都渋谷区東3-13-11
営業 TEL044(874)9657 表示価格は税込
http://www.kinokuniya.co.jp